

## II 調査結果

### 1 回答者の構成

有効回収数 1,053 票の標本構成は下表のとおりである。

#### 回答者の構成

N : 1,053 人

性別	男性	女性	無回答				
	42.5% 448人	56.3% 593人	1.1% 12人				
年齢	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
	6.6% 69人	9.1% 96人	16.0% 169人	16.2% 171人	25.2% 265人	25.7% 271人	1.1% 12人
居住歴	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	10年未満	20年未満	30年未満
	1.5% 16人	1.8% 19人	0.5% 5人	2.3% 24人	3.2% 34人	10.4% 110人	11.7% 123人
	30年以上	無回答					
	67.5% 711人	1.0% 11人					
職業	自営業	自由業	会社員	公務員・教員	農・林・漁業	主婦・主夫 (パートなど)	主婦・主夫 (専業)
	6.2% 65人	0.5% 5人	24.4% 257人	3.5% 37人	0.4% 4人	16.3% 172人	17.1% 180人
	学生	無職	その他	無回答			
	2.7% 28人	22.6% 238人	5.0% 53人	1.3% 14人			
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	10.4% 110人	17.4% 183人	21.1% 222人	9.3% 98人	8.0% 84人	27.6% 291人	6.2% 65人

なお、平成 30 年 5 月 31 日現在の住民基本台帳による 18 歳以上の北九州市民の性別、年齢、居住区の属性別構成は下表に示すとおりである。

これを、今年度調査の有効回収の標本構成と比較すると、性別では調査サンプルの男性が実態より 4.2 ポイント低い結果となっている。年齢別では、例年の傾向であるが、有効回答率の低さを反映してか 10・20 歳代で調査サンプルが住民基本台帳の実態ベースより 7.1 ポイント低く、逆に 60 歳代では調査サンプルのウエイトが 8.4 ポイント高いのが目立っている。なお、行政区（居住区）別では概ね両者間に大きな差はみられない。調査結果の解釈にあたっては、主にこの 3 点に関するウエイトの構成差異に留意されたい。

#### 平成 30 年 5 月 31 日現在の住民基本台帳による人口構成（18 歳以上）

性別	男	女					
	46.7%	53.3%					
年齢	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	
	13.7%	13.1%	16.4%	14.1%	16.8%	25.9%	
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	10.6%	19.2%	21.8%	8.7%	7.2%	26.4%	6.2%

## 2 調査の結果

### (2) 北九州自治基本条例の認知度

問2 あなたは、平成22年10月1日に施行された北九州市自治基本条例について知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,053人

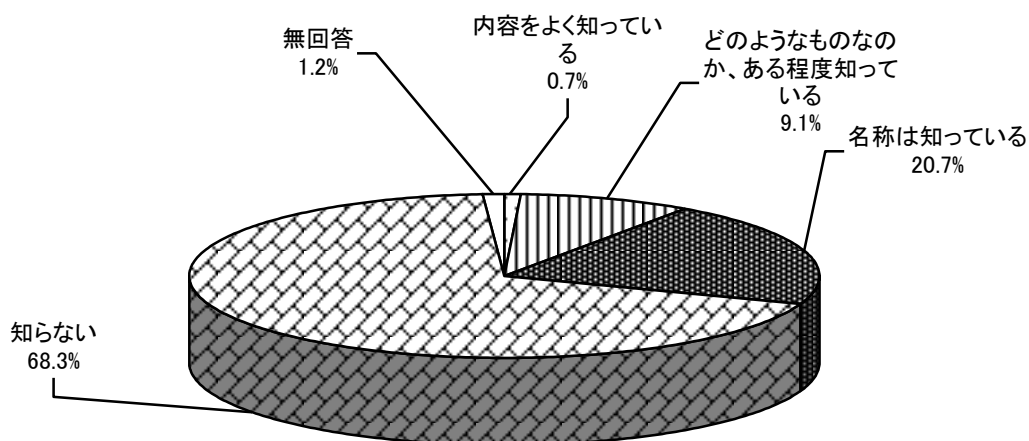
項目	回答数(人)	割合(%)
1 内容をよく知っている	7	0.7
2 どのようなものなのか、ある程度知っている	96	9.1
3 名称は知っている	218	20.7
4 知らない	719	68.3
無回答	13	1.2

◇ 「北九州市自治基本条例」について、

1位 「知らない」(68.3%)

2位 「名称は知っている」(20.7%)

3位 「どのようなものなのか、ある程度知っている」(9.1%)



□ 内容をよく知っている

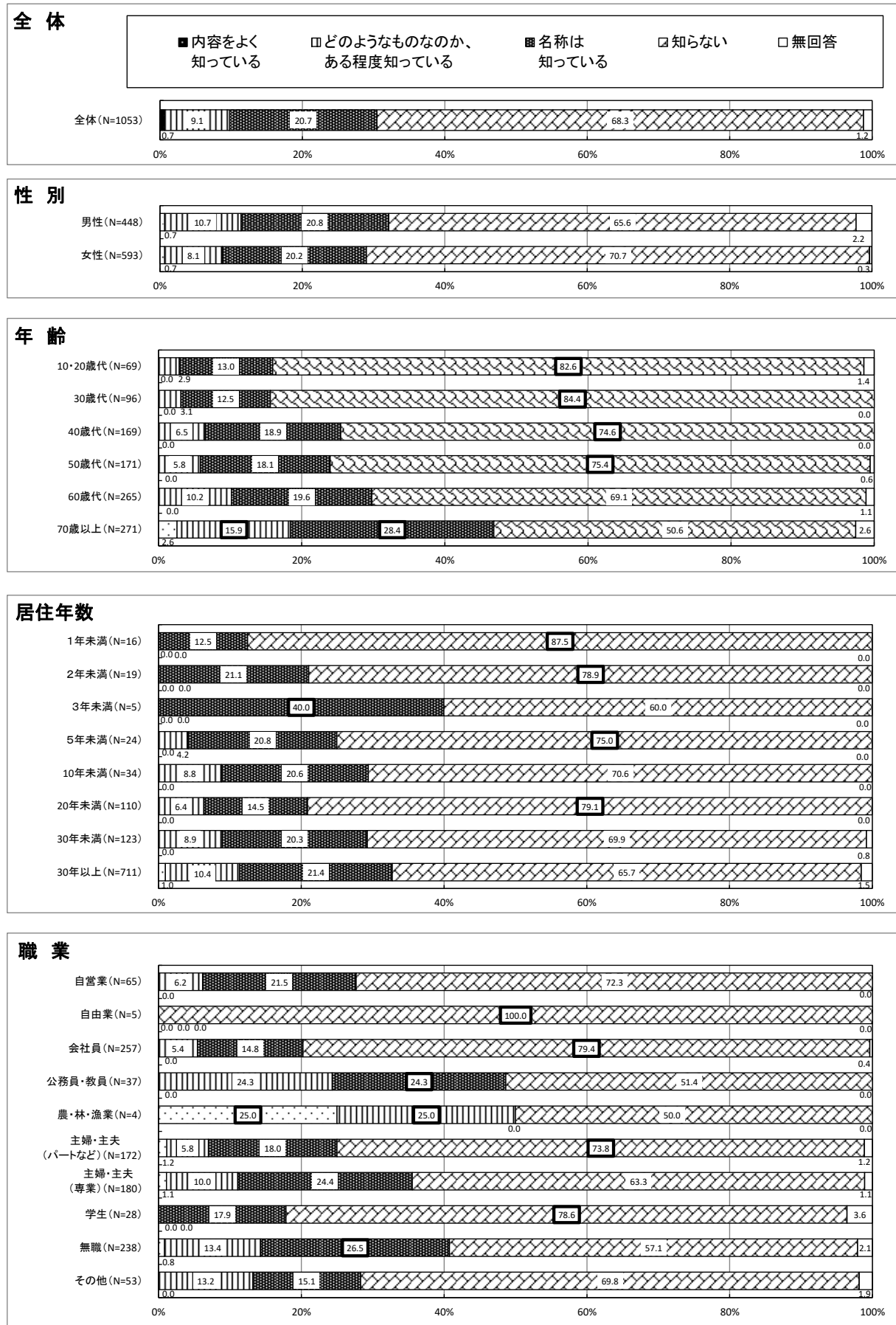
■ 名称は知っている

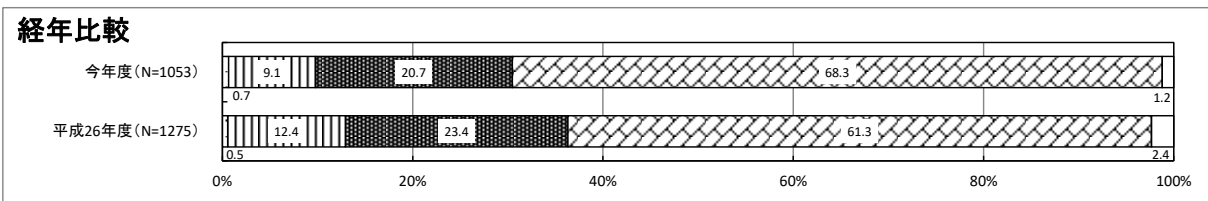
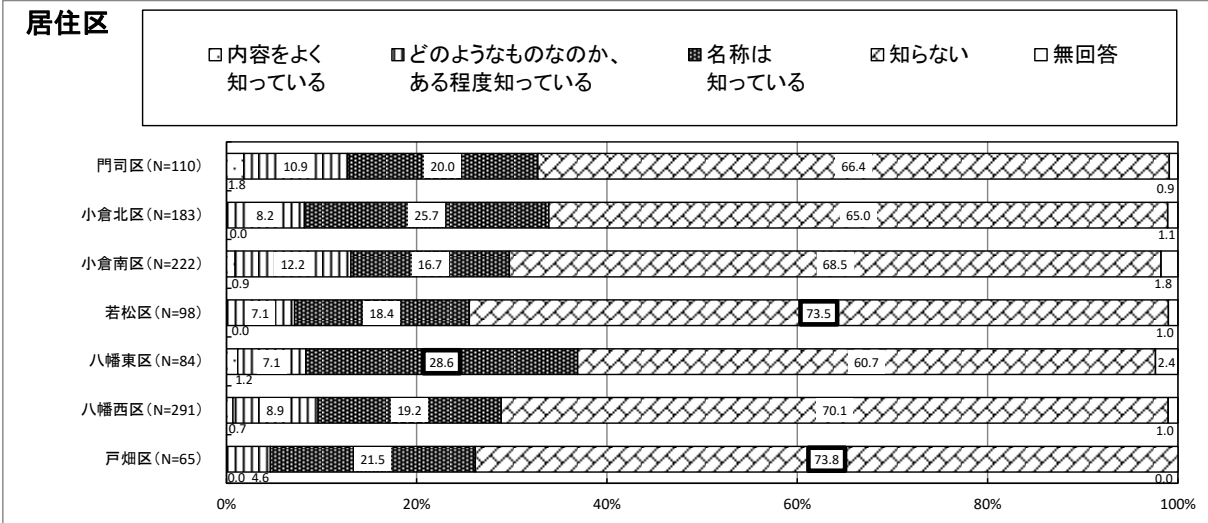
□ 無回答

□ どのようなものなのか、ある程度知っている

■ 知らない

## 問2 北九州市自治基本条例の認知度





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

## 北九州市自治基本条例の認知度

### 【全体的傾向】

「北九州市自治基本条例」について知っているかを尋ねたところ、「知らない」(68.3%)が最も多く、次いで「名称は知っている」(20.7%)、「どのようなものなのか、ある程度知っている」(9.1%)の順となっている。「内容をよく知っている」(0.7%)「どのようなものなのか、ある程度知っている」「名称は知っている」を合わせた『認知層』は30.5%で、3割強となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、北九州市自治基本条例について「知らない」は女性(70.7%)が男性(65.6%)を上回った。『認知層』は男性(32.2%)が女性(29.0%)を3.2ポイント上回った。
- ◇ 年齢別では、「知らない」は30歳代(84.4%)で最も多く、次いで10・20歳代(82.6%)、50歳代(75.4%)、40歳代(74.6%)と続いた。一方、『認知層』は70歳以上(46.9%)で最も多く、次いで60歳代(29.8%)と続いた。
- ◇ 居住年数別では、「知らない」は1年未満(87.5%)で最も多く、次いで20年未満(79.1%)、2年未満(78.9%)と続き、これらの居住年数層で7割を上回った。
- ◇ 職業別では、「知らない」は会社員(79.4%)で最も多く、次いで学生(78.6%)、主婦・主夫(パートなど)(73.8%)、自営業(72.3%)と続いた。一方、『認知層』は公務員・教員(48.6%)で最も多く、次いで無職(40.7%)と続き、これらの職業層で4割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、「知らない」は戸畑区(73.8%)で最も多く、最も少ない八幡東区(60.7%)との差は13.1ポイントであった。同様に『認知層』は八幡東区(36.9%)が最も多く、最も少ない若松区(25.5%)との差は11.4ポイントであった。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、『認知層』は今年度(30.5%)が平成26年度(36.3%)を下回っている。一方、「知らない」は今年度(68.3%)が平成26年度(61.3%)を上回っている。

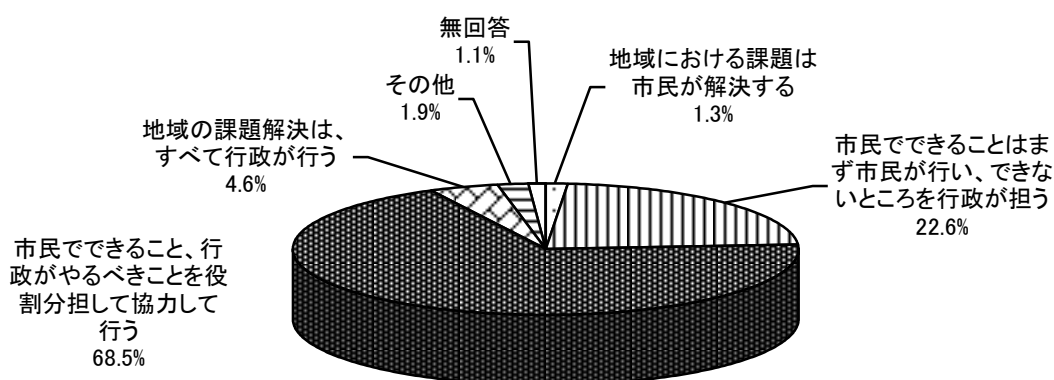
### (3) 自治のあり方（市民と行政の役割分担）

問3 あなたは、「自治」のあり方をどう考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,053 人

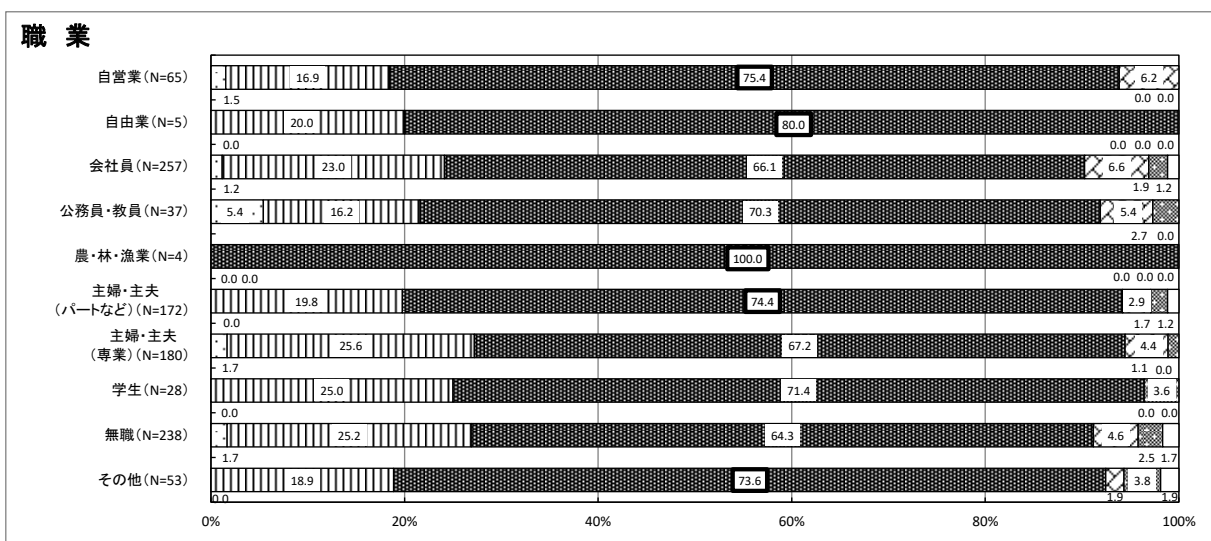
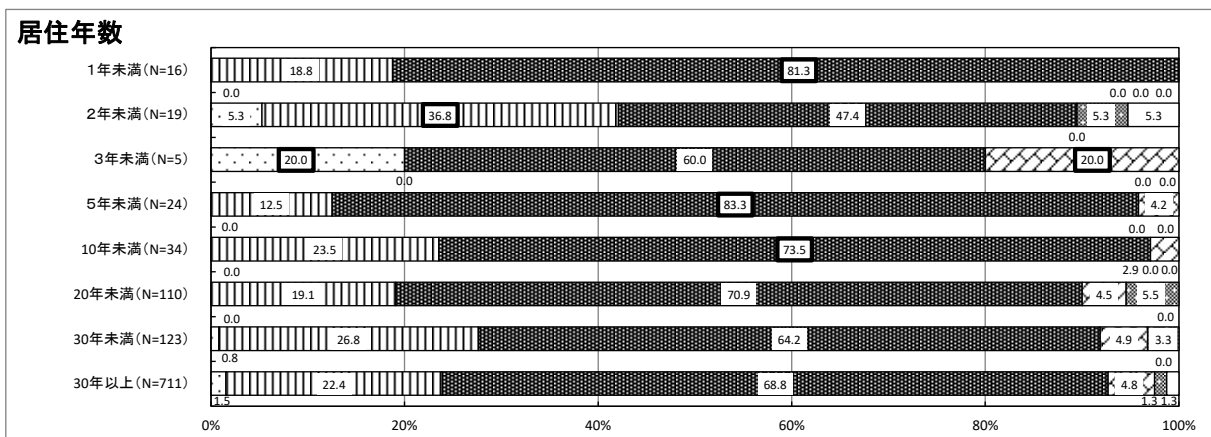
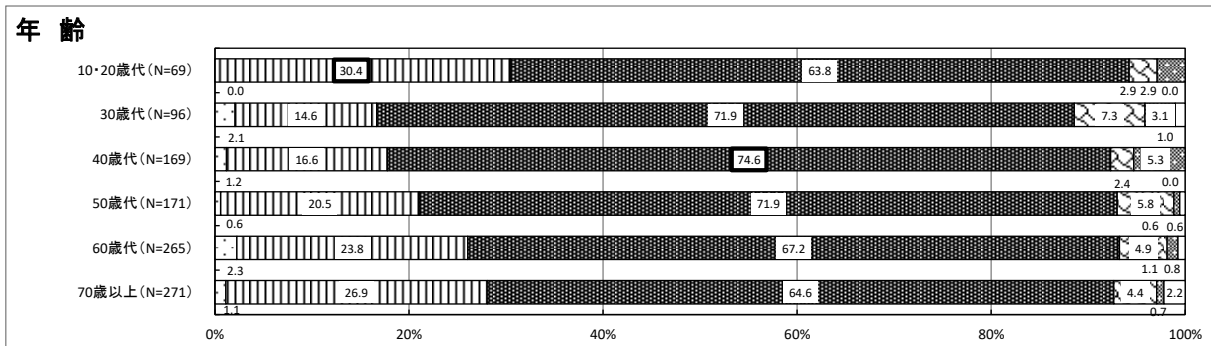
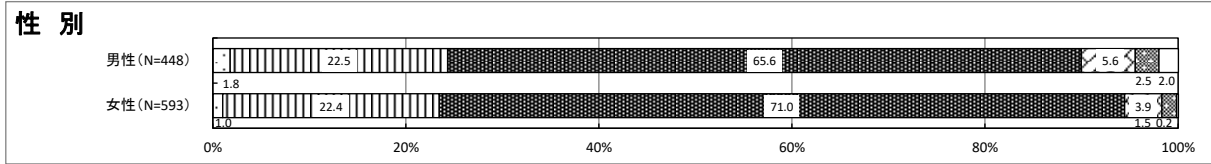
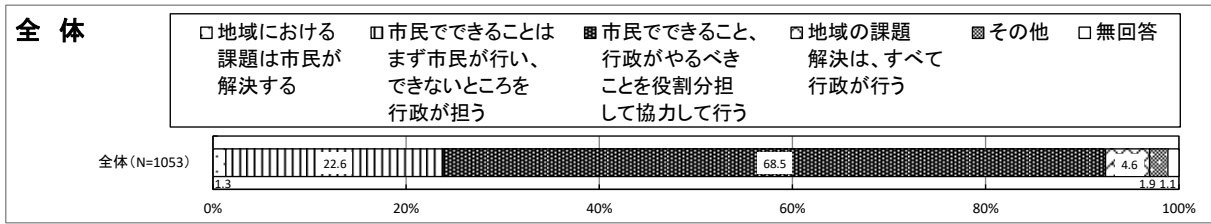
項目	回答数（人）	割合（%）
1 地域における課題は市民が解決する	14	1.3
2 市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う	238	22.6
3 市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う	721	68.5
4 地域の課題解決は、すべて行政が行う	48	4.6
5 その他	20	1.9
無回答	12	1.1

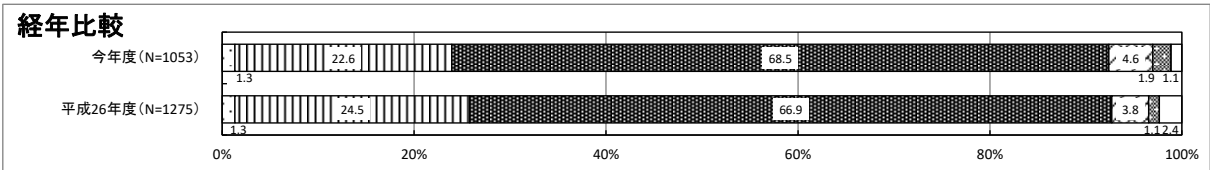
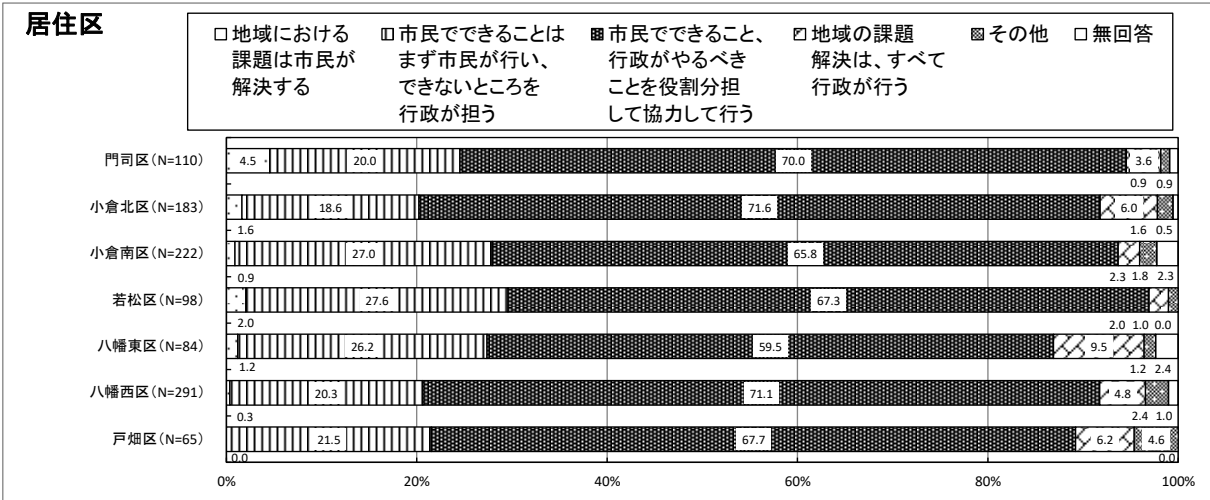
- ◇ 「自治」のあり方は、
- 1位 「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」  
(68.5%)
  - 2位 「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」  
(22.6%)
  - 3位 「地域の課題解決は、すべて行政が行う」(4.6%)



- |                                     |                                 |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/>            | 地域における課題は市民が解決する                |
| <input type="checkbox"/>            | 市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う  |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う |
| <input type="checkbox"/>            | 地域の課題解決は、すべて行政が行う               |
| <input type="checkbox"/>            | その他                             |
| <input type="checkbox"/>            | 無回答                             |

### 問3 自治のあり方（市民と行政の役割分担）





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)



## 自治のあり方（市民と行政の役割分担）

### 【全体的傾向】

自治のあり方は、「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」（68.5%）が最も多く、7割弱となっている。次いで「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」（22.6%）、「地域の課題解決は、すべて行政が行う」（4.6%）の順となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多く、男性（65.6%）と女性（71.0%）では女性が上回った。総合2位の「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は男性（22.5%）、女性（22.4%）となって男女間で大きな差は見られなかった。
- ◇ 年齢別でも、全ての年齢層で総合1位の「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多かった。中でも40歳代（74.6%）で最も多く、30歳代及び50歳代（各71.9%）が同率で続き、これらの年齢層で7割を上回った。総合2位の「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は10・20歳代（30.4%）で最も多く、唯一3割を上回った。
- ◇ 居住年数別でも、全ての居住年数層で総合1位の「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多かった。中でも5年未満（83.3%）で最も多く、次いで1年未満（81.3%）と続いた。総合2位の「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は2年未満（36.8%）で最も多かった。
- ◇ 職業別でも、全ての職業層で総合1位の「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多く、それぞれ6割を上回った。中でも自営業（75.4%）で最も多く、7割半ばとなった。総合2位の「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は主婦・主夫（専業）（25.6%）で多く、無職（25.2%）、学生（25.0%）と続いている。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で総合1位の「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」が最も多かった。中でも小倉北区（71.6%）で最も多く、次いで八幡西区（71.1%）が続いた。総合2位の「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は若松区（27.6%）で最も多く、次いで小倉南区（27.0%）となった。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「市民でできること、行政がやるべきことを役割分担して協力して行う」は今年度（68.5%）が平成26年度（66.9%）を上回っている。一方、「市民でできることはまず市民が行い、できないところを行政が担う」は今年度（22.6%）が平成26年度（24.5%）を下回っている。また、「地域の課題解決は、すべて行政が行う」では今年度（4.6%）が平成26年度（3.8%）を上回る結果となった。

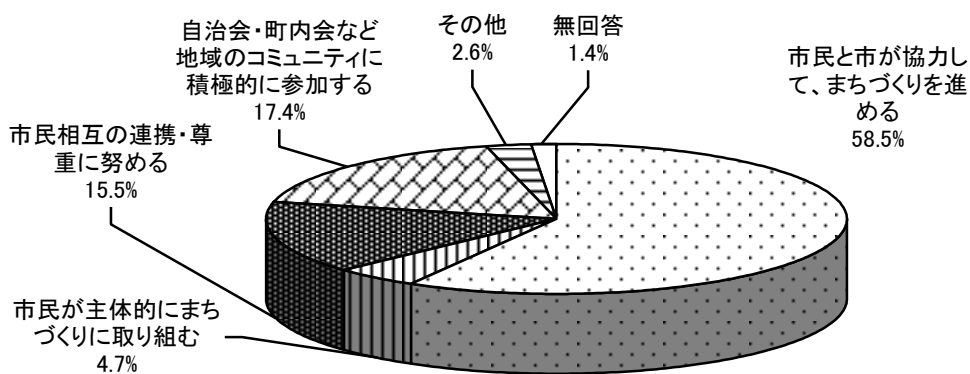
(4) 自治を進めるために必要なこと

問4 あなたは、「自治」を進めるためには、どのようなことが大切だと考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,053 人

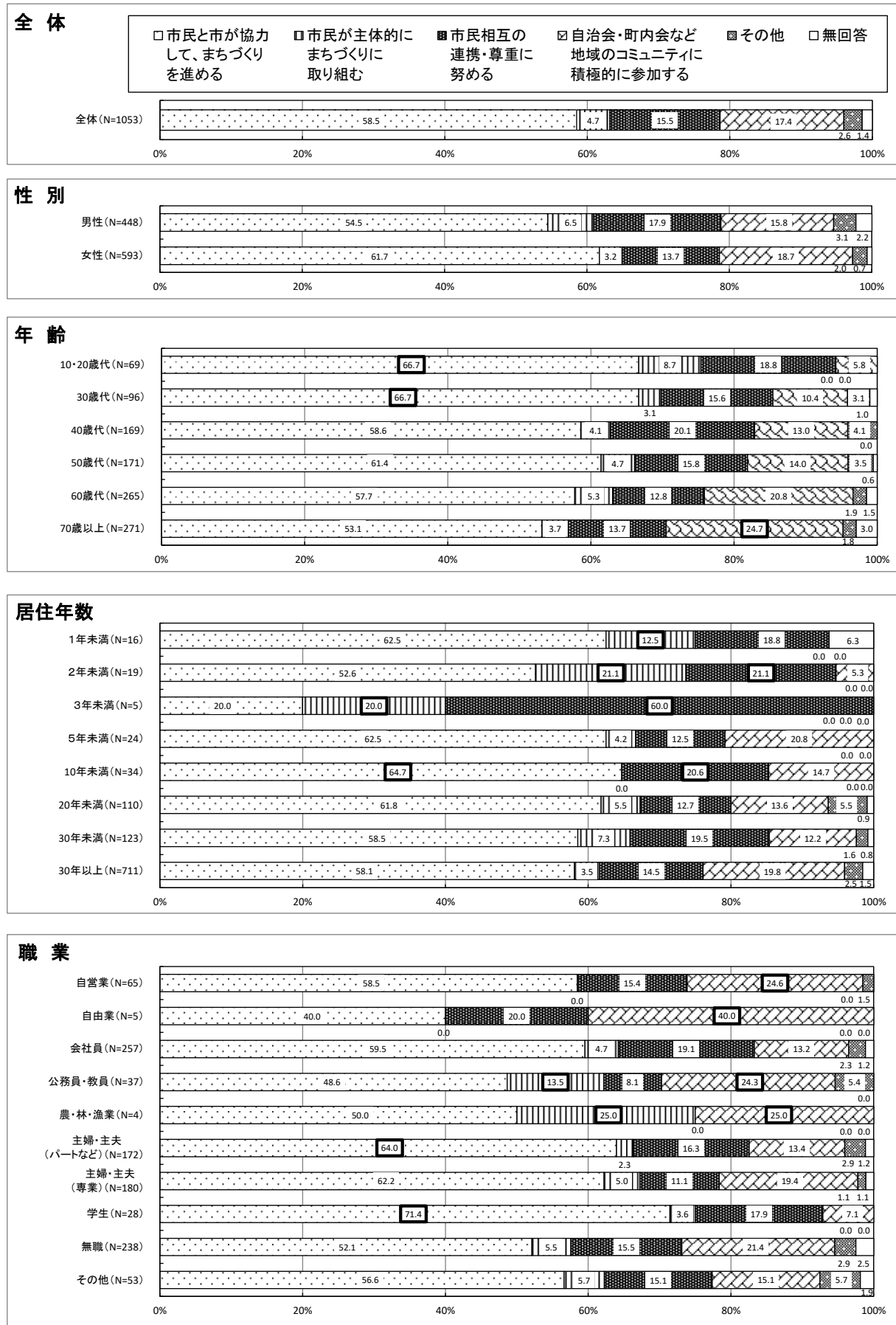
項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 市民と市が協力して、まちづくりを進める	616	58.5
2 市民が主体的にまちづくりに取り組む	49	4.7
3 市民相互の連携・尊重に努める	163	15.5
4 自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する	183	17.4
5 その他	27	2.6
無回答	15	1.4

- ◇ 「自治」を進めるために大切なことは、
- 1位 「市民と市が協力して、まちづくりを進める」(58.5%)
  - 2位 「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」(17.4%)
  - 3位 「市民相互の連携・尊重に努める」(15.5%)



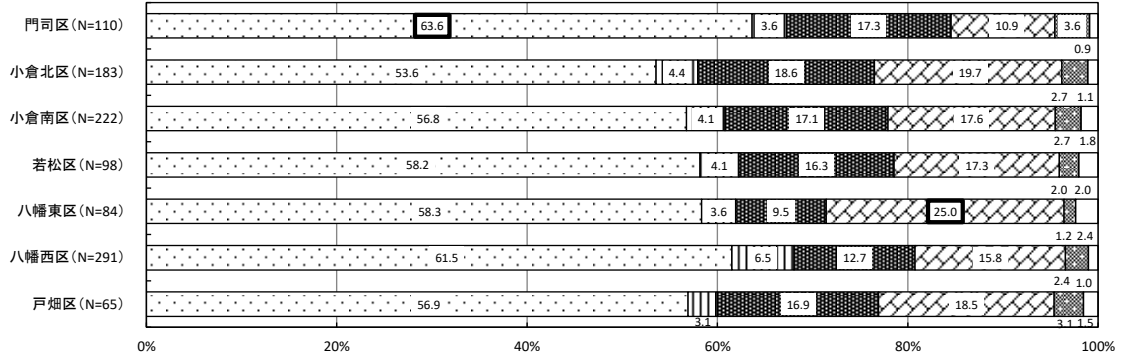
- 市民と市が協力して、まちづくりを進める
- ▣ 市民が主体的にまちづくりに取り組む
- 市民相互の連携・尊重に努める
- ▤ 自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する
- その他
- 無回答

#### 問4 自治を進めるために必要なこと

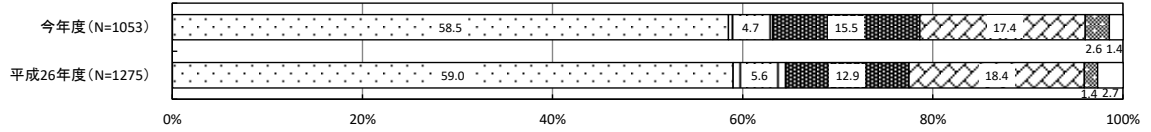


## 居住区

□ 市民と市が協力して、まちづくりを進める  
 □ 市民が主体的にまちづくりに取り組む  
 ■ 市民相互の連携・尊重に努める  
 ▨ 自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する  
 ■ その他  
 □ 無回答



## 経年比較



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

## 自治を進めるために必要なこと

### 【全体的傾向】

「自治」を進めるために大切なことは、「市民と市が協力して、まちづくりを進める」(58.5%)が最も多く、6割弱となっている。次いで「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」(17.4%)、「市民相互の連携・尊重に努める」(15.5%)の順となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が最も多く、男性(54.5%)と女性(61.7%)では女性が上回った。総合2位の「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」も女性(18.7%)が男性(15.8%)を上回った。
- ◇ 年齢別でも、全ての年齢層で総合1位の「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が最も多かった。中でも10・20歳代及び30歳代(各66.7%)が同率で最も多く、次いで50歳代(61.4%)、40歳代(58.6%)、60歳代(57.7%)と続いた。総合2位の「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」は70歳以上(24.7%)で最も多く、次いで60歳代(20.8%)と続き、高年層でともに2割を上回った。総合3位の「市民相互の連携・尊重に努める」は40歳代(20.1%)で最も多く、総合4位の「市民が主体的にまちづくりに取り組む」は10・20歳代(8.7%)で最も多かった。
- ◇ 居住年数別では、全ての居住年数層で総合1位の「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が最も多かった。中でも10年未満(64.7%)で最も多く、次いで1年未満及び5年未満(各62.5%)と続き、ともに6割を上回った。総合2位の「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」は5年未満(20.8%)で最も多く、次いで30年以上(19.8%)、10年未満(14.7%)と続いた。総合3位の「市民相互の連携・尊重に努める」は2年未満(21.1%)で最も多く、総合4位の「市民が主体的にまちづくりに取り組む」も2年未満(21.1%)で最も多かった。
- ◇ 職業別でも、全ての職業層で総合1位の「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が最も多かった。中でも学生(71.4%)で最も多く、次いで「主婦・主夫(パートなど)」(64.0%)、「主婦・主夫(専業)」(62.2%)となっている。総合2位の「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」は自営業(24.6%)で最も多く、次いで公務員・教員(24.3%)、無職(21.4%)と続き、これらの職業層で2割を上回った。総合4位の「市民が主体的にまちづくりに取り組む」は公務員・教員(13.5%)で最も多く、唯一1割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で総合1位の「市民と市が協力して、まちづくりを進める」が最も多かった。中でも門司区(63.6%)で最も多く、次いで八幡西区(61.5%)と続き、これらの区で6割を上回った。総合2位の「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」は八幡東区(25.0%)で最も多く、次いで小倉北区(19.7%)と続いた。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「市民と市が協力して、まちづくりを進める」は平成26年度(59.0%)が今年度(58.5%)を上回っている。「自治会・町内会など地域のコミュニティに積極的に参加する」も平成26年度(18.4%)が今年度(17.4%)を上回っている。また、「市民相互の連携・尊重に努める」では今年度(15.5%)が平成26年度(12.9%)を上回る結果となった。

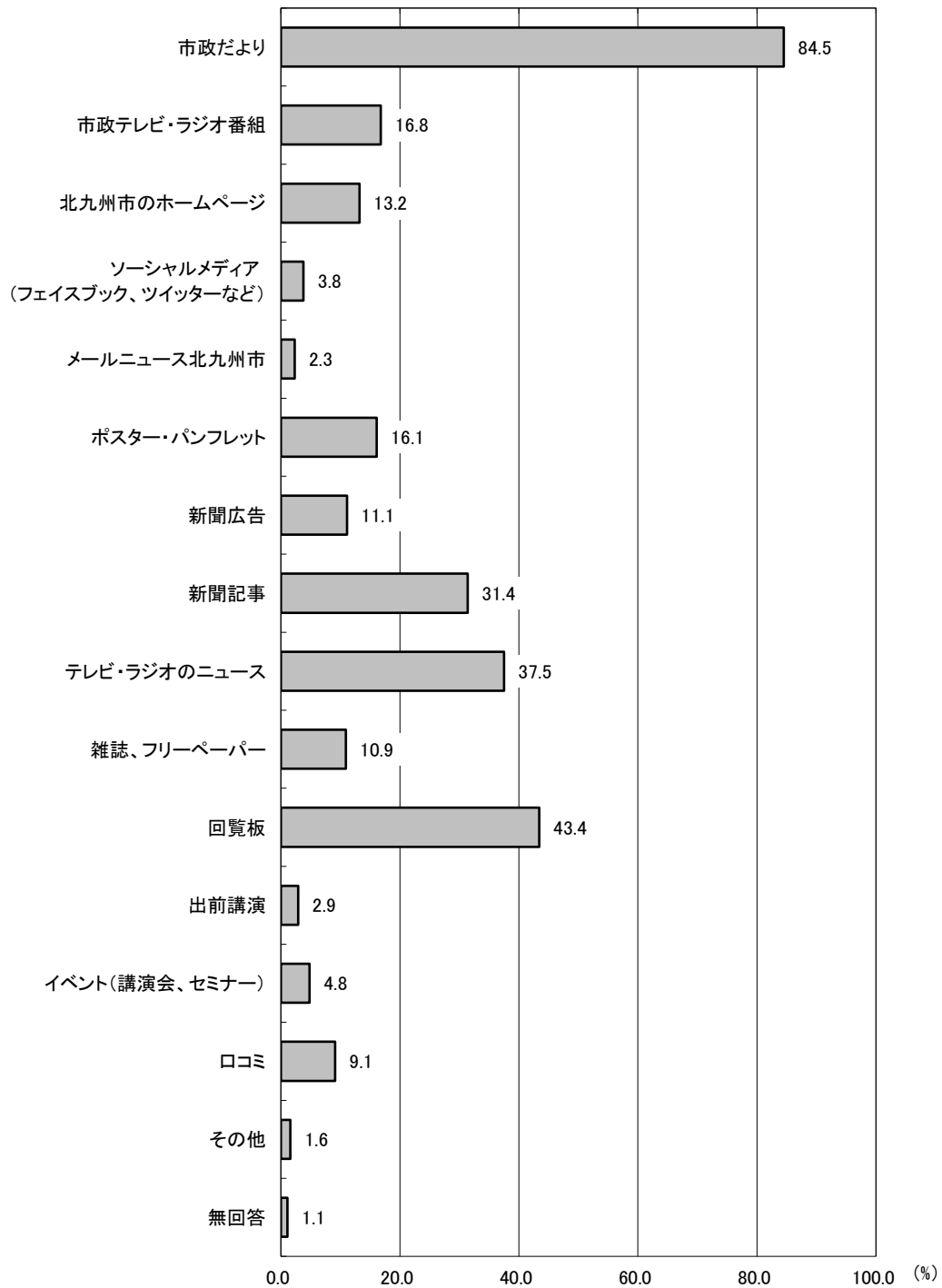
(5) 市が発信する情報の入手先

問5 あなたは、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報を普段どこから入手していますか。よく見て（聞いて）いるものを次の中からいくつでも選んでください。

N : 1,053 人

項目	回答数（人）	割合（%）
1 市政だより	890	84.5
2 市政テレビ・ラジオ番組	177	16.8
3 北九州市のホームページ	139	13.2
4 ソーシャルメディア（フェイスブック、ツイッターなど）	40	3.8
5 メールニュース北九州市	24	2.3
6 ポスター・パンフレット	170	16.1
7 新聞広告	117	11.1
8 新聞記事	331	31.4
9 テレビ・ラジオのニュース	395	37.5
10 雑誌、フリーペーパー	115	10.9
11 回覧板	457	43.4
12 出前講演	31	2.9
13 イベント（講演会、セミナー）	51	4.8
14 口コミ	96	9.1
15 その他	17	1.6
無回答	12	1.1

- ◇ よく見て（聞いて）いる、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報は、
- 1位 「市政だより」（84.5%）
  - 2位 「回覧板」（43.4%）
  - 3位 「テレビ・ラジオのニュース」（37.5%）



問5 市が発信する情報の入手先

(件・%)

		サンプル数	市政だより	市政テレビ・ラジオ番組	北九州市のホームページ	ソーシャルメディア(フェイスブック、ツイッターなど)	メールニュース北九州市	ポスター・パンフレット	新聞広告	新聞記事	テレビ・ラジオのニュース	雑誌、フリーペーパー	回覧板	出前講演	イベント(講演会、セミナー)	ロコミ	その他	無回答	
全体		1,053	84.5	16.8	13.2	3.8	2.3	16.1	11.1	31.4	37.5	10.9	43.4	2.9	4.8	9.1	1.6	1.1	
性別	男性	448	80.4	17.9	13.8	3.3	2.0	14.7	13.4	35.5	40.0	8.7	42.0	2.7	4.9	8.7	2.0	1.6	
	女性	593	87.7	16.0	13.0	4.2	2.5	17.4	9.6	28.2	36.1	12.6	44.4	3.2	4.9	9.4	1.3	0.8	
年齢別	10・20歳代	69	49.3	14.5	8.7	<b>13.0</b>	2.9	20.3	8.7	15.9	34.8	<b>20.3</b>	24.6	2.9	0.0	13.0	1.4	1.4	
	30歳代	96	75.0	4.2	<b>19.8</b>	8.3	2.1	11.5	5.2	10.4	32.3	<b>19.8</b>	21.9	0.0	4.2	5.2	4.2	0.0	
	40歳代	169	84.0	11.8	<b>20.1</b>	5.3	2.4	17.2	5.3	18.3	25.4	15.4	30.8	1.2	3.6	10.7	2.4	0.6	
	50歳代	171	87.1	12.9	15.2	2.3	2.3	11.1	12.9	33.3	39.8	9.9	41.5	0.6	2.3	5.8	1.2	0.0	
	60歳代	265	87.9	17.4	10.9	3.8	1.9	17.7	12.1	35.8	40.8	8.3	<b>54.3</b>	4.5	6.4	6.8	1.5	0.8	
	70歳以上	271	<b>92.3</b>	<b>26.6</b>	9.2	0.0	2.2	17.7	15.9	<b>45.0</b>	<b>43.5</b>	5.9	<b>53.5</b>	5.2	7.4	12.9	0.7	3.0	
居住年数別	1年未満	16	43.8	6.3	6.3	6.3	0.0	12.5	0.0	12.5	<b>56.3</b>	<b>31.3</b>	18.8	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0	
	2年未満	19	57.9	21.1	5.3	<b>10.5</b>	5.3	15.8	15.8	10.5	10.5	15.8	5.3	<b>10.5</b>	5.3	0.0	0.0	0.0	
	3年未満	5	60.0	<b>60.0</b>	<b>40.0</b>	0.0	<b>20.0</b>	20.0	<b>20.0</b>	<b>20.0</b>	<b>80.0</b>	0.0	40.0	0.0	<b>20.0</b>	0.0	0.0	0.0	
	5年未満	24	70.8	4.2	4.2	4.2	0.0	12.5	8.3	12.5	33.3	12.5	16.7	4.2	8.3	12.5	4.2	4.2	
	10年未満	34	88.2	5.9	<b>20.6</b>	2.9	0.0	14.7	0.0	14.7	29.4	14.7	26.5	0.0	5.9	8.8	2.9	0.0	
	20年未満	110	77.3	14.5	<b>20.0</b>	4.5	1.8	13.6	10.0	21.8	29.1	<b>17.3</b>	30.9	3.6	3.6	10.0	2.7	0.0	
	30年未満	123	82.9	12.2	13.0	7.3	2.4	16.3	8.1	35.0	35.0	14.6	39.8	0.8	3.3	9.8	1.6	0.8	
	30年以上	711	88.0	18.7	12.5	3.0	2.4	16.9	12.7	34.6	40.1	8.6	<b>48.8</b>	3.4	4.9	8.9	1.4	1.4	
職業別	自営業	65	86.2	15.4	9.2	0.0	1.5	15.4	10.8	33.8	40.0	12.3	<b>50.8</b>	3.1	9.2	<b>15.4</b>	3.1	0.0	
	自由業	5	20.0	0.0	<b>40.0</b>	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	<b>60.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>40.0</b>	0.0	0.0	
	会社員	257	78.6	12.8	14.0	5.8	3.5	12.5	10.1	25.3	37.4	14.4	34.2	0.8	4.3	6.2	2.3	1.2	
	公務員・教員	37	83.8	13.5	<b>32.4</b>	5.4	2.7	<b>27.0</b>	5.4	27.0	37.8	13.5	29.7	<b>8.1</b>	5.4	8.1	0.0	0.0	
	農・林・漁業	4	<b>100.0</b>	0.0	<b>50.0</b>	0.0	<b>25.0</b>	<b>25.0</b>	<b>25.0</b>	25.0	25.0	0.0	<b>100.0</b>	<b>25.0</b>	<b>25.0</b>	0.0	0.0	0.0	
	主婦・主夫(パートなど)	172	<b>90.1</b>	12.8	12.8	4.1	0.0	16.9	8.7	21.5	29.7	13.4	47.1	1.7	3.5	9.9	1.7	1.2	
	主婦・主夫(専業)	180	<b>92.2</b>	16.7	8.3	2.2	3.9	20.0	12.2	<b>38.9</b>	<b>42.8</b>	8.3	<b>50.6</b>	3.3	4.4	9.4	0.0	0.0	
	学生	28	50.0	<b>28.6</b>	7.1	3.6	0.0	<b>21.4</b>	14.3	25.0	<b>46.4</b>	14.3	21.4	3.6	0.0	7.1	0.0	0.0	
	無職	238	87.0	<b>24.4</b>	14.7	2.9	0.8	16.4	14.3	<b>43.7</b>	39.9	7.1	47.9	3.8	4.6	9.2	1.7	2.5	
	その他	53	79.2	17.0	13.2	7.5	5.7	9.4	9.4	17.0	32.1	9.4	41.5	7.5	<b>11.3</b>	11.3	3.8	1.9	
居住区別	門司区	110	87.3	16.4	13.6	3.6	1.8	15.5	11.8	31.8	34.5	8.2	<b>51.8</b>	6.4	<b>12.7</b>	7.3	0.9	2.7	
	小倉北区	183	86.3	15.3	14.2	2.2	1.6	15.8	10.9	33.3	35.5	13.1	26.2	1.1	4.4	9.8	0.0	2.7	
	小倉南区	222	82.4	14.9	13.5	6.3	2.7	17.6	9.0	29.3	40.5	15.8	44.6	0.9	1.8	10.4	2.3	1.4	
	若松区	98	88.8	18.4	13.3	2.0	4.1	13.3	13.3	31.6	38.8	9.2	<b>55.1</b>	7.1	4.1	9.2	1.0	0.0	
	八幡東区	84	85.7	19.0	16.7	3.6	2.4	17.9	14.3	34.5	41.7	8.3	47.6	3.6	3.6	9.5	1.2	0.0	
	八幡西区	291	82.1	19.2	11.0	3.8	2.1	15.8	11.0	31.3	37.5	7.9	46.4	3.1	5.8	8.9	2.1	0.3	
戸畑区	65	84.6	12.3	13.8	3.1	1.5	16.9	10.8	29.2	30.8	12.3	36.9	1.5	1.5	6.2	4.6	0.0		
経年比較																			
平成26年度	全体	1,275	86.8	19.1	14.3	1.6	1.0	15.7	14.8	<b>36.7</b>	36.9	10.0	44.2	3.0	4.0	10.9	1.3	1.1	

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」、「無回答」は除く)



## 市が発信する情報の入手先

### 【全体的傾向】

市が発信している市政やまちづくりに関する情報媒体で、よく見て（聞いて）いるものは、「市政だより」（84.5%）が最も多く、8割半ばとなっている。次いで「回覧板」（43.4%）、「テレビ・ラジオのニュース」（37.5%）、「新聞記事」（31.4%）の順で続き、これらは3割以上となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「市政だより」が最も多く、女性（87.7%）が男性（80.4%）を上回った。総合2位の「回覧板」も女性（44.4%）が男性（42.0%）を上回った。総合3位の「テレビ・ラジオのニュース」では、男性（40.0%）が女性（36.1%）を上回っている。
- ◇ 年齢別でも、全ての年齢層で総合1位の「市政だより」が最も多かった。10・20歳代（49.3%）で最も少なく、30歳代（75.0%）、40歳代（84.0%）、50歳代（87.1%）、60歳代（87.9%）、70歳以上（92.3）と年齢層が高くなるにつれ増加している。総合2位の「回覧板」は、60歳代（54.3%）が最も多く、次いで70歳以上（53.5%）、50歳以上（41.5%）と続いている。総合3位の「テレビ・ラジオのニュース」は70歳以上（43.5%）で最も多く、次いで60歳代（40.8%）が続いた。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「市政だより」は10年未満（88.2%）で最も多く、次いで30年以上（88.0%）と続いた。総合2位の「回覧板」は30年以上（48.8%）で最も多く、次いで30年未満（39.8%）と続いた。総合3位の「テレビ・ラジオのニュース」は1年未満（56.3%）で最も多く、次いで30年以上（40.1%）が続いた。
- ◇ 職業別でも、全ての職業層で総合1位の「市政だより」が最も多かった。中でも主婦・主夫（専業）（92.2%）で最も多く、次いで主婦・主夫（パートなど）が続いた。総合2位の「回覧板」は自営業（50.8%）で最も多く、次いで主婦・主夫（専業）（50.6%）と続いた。総合3位の「テレビ・ラジオのニュース」は学生（46.4%）で最も多く、次いで主婦・主夫（専業）（42.8%）と続いた。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で総合1位の「市政だより」が最も多かった。中でも若松区（88.8%）で最も多く、次いで門司区（87.3%）と続いた。最も少ないのは八幡西区（82.1%）で、最も多い若松区（88.8%）との差は6.7ポイントであった。総合2位の「回覧版」は若松区（55.1%）で最も多く、次いで門司区（51.8%）と続き、これらの区で5割を上回った。総合3位の「テレビ・ラジオのニュース」は八幡東区（47.1%）で最も多く、次いで小倉南区（40.5%）と続いた。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「市政だより」は平成26年度（86.8%）が今年度（84.5%）を上回っている。また、「回覧版」も平成26年度（44.2%）が今年度（43.4%）を上回っている。また、「テレビ・ラジオのニュース」では今年度（37.5%）が平成26年度（36.9%）を上回る結果となった。

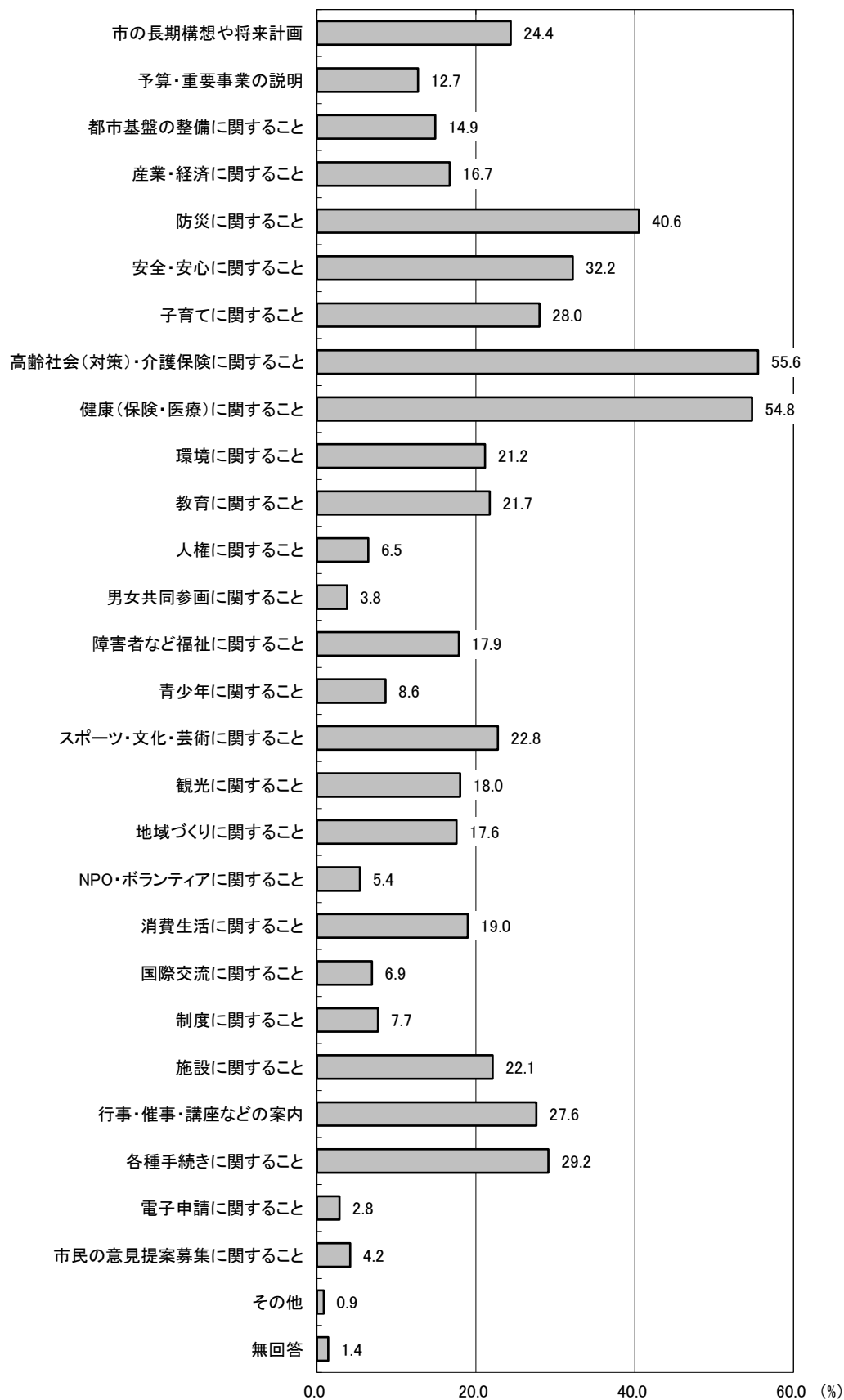
(6) 市が発信する情報のうち、興味のあるもの

問6 北九州市が発信する情報の中で、あなたにとって興味のある事項は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

N : 1,053 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 市の長期構想や将来計画	257	24.4
2 予算・重要事業の説明	134	12.7
3 都市基盤の整備に関すること	157	14.9
4 産業・経済に関すること	176	16.7
5 防災に関すること	427	40.6
6 安全・安心に関すること	339	32.2
7 子育てに関すること	295	28.0
8 高齢社会 (対策)・介護保険に関すること	585	55.6
9 健康 (保険・医療) に関すること	577	54.8
10 環境に関すること	223	21.2
11 教育に関すること	229	21.7
12 人権に関すること	68	6.5
13 男女共同参画に関すること	40	3.8
14 障害者など福祉に関すること	188	17.9
15 青少年に関すること	91	8.6
16 スポーツ・文化・芸術に関すること	240	22.8
17 観光に関すること	190	18.0
18 地域づくりに関すること	185	17.6
19 NPO・ボランティアに関すること	57	5.4
20 消費生活に関すること	200	19.0
21 国際交流に関すること	73	6.9
22 制度に関すること	81	7.7
23 施設に関すること	233	22.1
24 行事・催事・講座などの案内	291	27.6
25 各種手続きに関すること	307	29.2
26 電子申請に関すること	30	2.8
27 市民の意見提案募集に関すること	44	4.2
28 その他	9	0.9
無回答	15	1.4

- ◇ 北九州市が発信する情報の中で、興味のある事項は、
- 1位 「高齢社会（対策）・介護保険に関すること」（55.6%）
  - 2位 「健康（保険・医療）に関すること」（54.8%）
  - 3位 「防災に関すること」（40.6%）



問6 市が発信する情報のうち、興味のあるもの(1)

(件・%)

		サンプル数	市の長期構想や将来計画	予算・重要事項の説明	都市基盤の整備に関すること	産業・経済に関すること	防災に関すること	安全・安心に関すること	子育てに関すること	高齢社会(対策)・介護保険に関すること	健康(保険・医療)に関すること	環境に関すること	教育に関すること	人権に関すること	男女共同参画に関すること	障害者など福祉に関すること
全体		1,053	24.4	12.7	14.9	16.7	40.6	32.2	28.0	55.6	54.8	21.2	21.7	6.5	3.8	17.9
性別	男性	448	29.0	14.1	19.4	<b>21.9</b>	36.2	32.1	26.8	53.1	46.0	22.8	19.0	6.3	4.2	17.9
	女性	593	20.9	11.6	11.6	13.0	43.8	32.4	29.3	56.7	<b>61.7</b>	20.4	23.9	6.7	3.4	17.5
年齢別	10・20歳代	69	14.5	8.7	14.5	13.0	34.8	23.2	31.9	11.6	27.5	15.9	21.7	4.3	1.4	4.3
	30歳代	96	17.7	8.3	19.8	10.4	36.5	32.3	<b>63.5</b>	25.0	41.7	21.9	<b>47.9</b>	4.2	3.1	13.5
	40歳代	169	25.4	12.4	16.0	18.9	40.2	34.3	<b>48.5</b>	40.2	51.5	21.9	<b>32.5</b>	4.7	4.7	13.6
	50歳代	171	22.8	12.3	15.2	21.6	39.2	33.3	21.6	50.9	54.4	24.0	19.3	6.4	5.8	21.1
	60歳代	265	24.5	12.8	11.3	16.6	<b>45.7</b>	33.6	19.2	<b>70.2</b>	<b>61.9</b>	24.2	15.1	7.2	2.6	18.5
	70歳以上	271	29.2	15.5	15.9	15.5	39.1	31.4	14.8	<b>74.2</b>	<b>62.7</b>	18.1	14.0	8.5	3.7	22.1
居住年数別	1年未満	16	18.8	6.3	0.0	6.3	<b>50.0</b>	<b>37.5</b>	<b>37.5</b>	31.3	25.0	<b>37.5</b>	6.3	0.0	0.0	6.3
	2年未満	19	10.5	10.5	10.5	10.5	26.3	21.1	<b>47.4</b>	21.1	57.9	15.8	21.1	0.0	5.3	0.0
	3年未満	5	<b>40.0</b>	0.0	<b>20.0</b>	20.0	40.0	<b>40.0</b>	<b>60.0</b>	60.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	5年未満	24	12.5	8.3	<b>20.8</b>	12.5	41.7	29.2	<b>45.8</b>	20.8	45.8	12.5	20.8	8.3	4.2	16.7
	10年未満	34	11.8	2.9	14.7	14.7	<b>52.9</b>	35.3	<b>58.8</b>	44.1	55.9	<b>32.4</b>	<b>44.1</b>	0.0	2.9	14.7
	20年未満	110	20.9	9.1	15.5	11.8	38.2	32.7	32.7	37.3	46.4	16.4	<b>29.1</b>	2.7	2.7	15.5
	30年未満	123	22.0	14.6	19.5	17.9	36.6	22.8	29.3	46.3	48.0	21.1	25.2	6.5	3.3	14.6
30年以上	711	26.7	13.8	14.3	18.0	41.1	33.9	24.3	<b>62.6</b>	58.5	21.9	19.4	7.7	4.1	19.5	
職業別	自営業	65	20.0	16.9	15.4	20.0	38.5	36.9	24.6	60.0	53.8	21.5	10.8	4.6	3.1	15.4
	自由業	5	0.0	<b>20.0</b>	0.0	<b>40.0</b>	40.0	20.0	<b>40.0</b>	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	会社員	257	26.8	9.3	19.1	<b>22.2</b>	37.4	31.5	<b>36.2</b>	44.4	47.5	23.7	23.3	4.7	4.3	12.8
	公務員・教員	37	<b>35.1</b>	<b>29.7</b>	<b>29.7</b>	<b>24.3</b>	43.2	35.1	<b>43.2</b>	35.1	48.6	<b>27.0</b>	<b>51.4</b>	8.1	2.7	13.5
	農・林・漁業	4	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	25.0	50.0	<b>75.0</b>	<b>50.0</b>	25.0	<b>25.0</b>	<b>25.0</b>	<b>25.0</b>
	主婦・主夫(パートなど)	172	19.2	9.3	10.5	12.2	41.3	33.7	32.6	52.9	<b>61.6</b>	23.8	<b>27.3</b>	4.1	2.3	14.0
	主婦・主夫(専業)	180	18.9	13.9	10.6	10.6	<b>46.7</b>	29.4	26.7	<b>61.1</b>	<b>63.3</b>	16.7	19.4	8.3	4.4	20.6
	学生	28	10.7	3.6	14.3	17.9	42.9	28.6	28.6	10.7	28.6	21.4	<b>28.6</b>	7.1	3.6	7.1
	無職	238	<b>30.7</b>	15.1	13.9	15.1	37.8	33.2	16.4	<b>72.7</b>	<b>60.1</b>	21.0	17.2	7.6	3.8	<b>24.8</b>
	その他	53	26.4	9.4	18.9	20.8	41.5	30.2	26.4	52.8	39.6	15.1	15.1	<b>13.2</b>	3.8	22.6
	居住区別	門司区	110	25.5	14.5	18.2	17.3	43.6	30.9	20.0	<b>65.5</b>	50.9	20.9	15.5	7.3	5.5
小倉北区		183	22.4	14.2	12.6	11.5	41.5	31.1	31.7	51.4	53.6	23.0	24.6	4.4	4.4	17.5
小倉南区		222	22.5	13.5	14.9	19.4	41.4	34.2	31.5	52.7	55.9	20.3	23.9	7.7	3.6	17.6
若松区		98	19.4	8.2	11.2	14.3	40.8	35.7	26.5	53.1	55.1	16.3	18.4	3.1	4.1	21.4
八幡東区		84	26.2	13.1	9.5	15.5	34.5	32.1	26.2	58.3	<b>60.7</b>	<b>26.2</b>	19.0	8.3	3.6	19.0
八幡西区		291	26.5	12.7	18.9	18.9	41.6	30.6	26.1	57.4	54.3	21.6	22.0	7.6	3.4	17.2
戸畑区	65	<b>30.8</b>	9.2	10.8	16.9	32.3	32.3	32.3	52.3	55.4	18.5	24.6	4.6	1.5	13.8	
経年比較																
平成26年度	全体	1,275	25.5	13.2	14.0	16.8	32.9	32.2	29.1	59.8	58.2	23.8	21.1	7.1	3.7	16.2

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」、「無回答」は除く)

問6 市が発信する情報のうち、興味のあるもの(2)

(件・%)

		サンプル数	青少年に関すること	スポーツ・文化・芸術に関すること	観光に関すること	地域づくりに関すること	NPO・ボランティアに関すること	消費生活に関すること	国際交流に関すること	制度に関すること	施設に関すること	行事・催事・講座などの案内	各種手続きに関すること	電子申請に関すること	市民の意見提案募集に関すること	その他	無回答
全体		1,053	8.6	22.8	18.0	17.6	5.4	19.0	6.9	7.7	22.1	27.6	29.2	2.8	4.2	0.9	1.4
性別	男性	448	9.4	22.5	17.2	19.6	4.9	14.7	8.7	7.1	20.5	20.8	22.3	3.6	3.8	1.3	2.0
	女性	593	7.9	23.4	18.7	16.2	5.6	21.9	5.7	8.3	23.6	<b>33.1</b>	<b>34.4</b>	2.4	4.6	0.5	1.0
年齢別	10・20歳代	69	10.1	<b>30.4</b>	18.8	13.0	<b>16.7</b>	<b>33.3</b>	0.0	0.0	8.3	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	96	5.2	27.1	17.7	14.6	<b>11.6</b>	7.2	<b>15.9</b>	2.9	10.1	21.7	20.3	2.9	2.9	0.0	0.0
	40歳代	169	10.1	<b>29.0</b>	20.7	18.9	1.0	18.8	4.2	10.4	20.8	32.3	20.8	6.3	0.0	3.1	0.0
	50歳代	171	8.2	26.3	18.7	15.2	5.3	14.2	9.5	8.3	20.1	26.0	32.0	2.4	3.0	1.8	0.0
	60歳代	265	5.7	18.9	18.5	18.5	4.1	21.6	5.8	9.4	21.1	29.2	<b>35.7</b>	3.5	4.1	0.0	0.0
	70歳以上	271	11.4	18.1	15.5	19.9	5.7	18.1	6.0	7.2	26.4	27.5	34.0	3.4	4.5	1.1	2.3
居住年数別	1年未満	16	6.3	18.8	<b>25.0</b>	<b>31.3</b>	5.9	23.6	5.9	7.4	24.0	28.0	24.4	1.1	6.6	0.0	3.3
	2年未満	19	5.3	<b>42.1</b>	10.5	15.8	8.3	<b>33.3</b>	0.0	0.0	8.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	3年未満	5	0.0	20.0	<b>60.0</b>	0.0	0.0	<b>25.0</b>	<b>18.8</b>	6.3	6.3	18.8	<b>43.8</b>	6.3	0.0	0.0	0.0
	5年未満	24	4.2	16.7	<b>25.0</b>	8.3	5.3	0.0	5.3	0.0	15.8	31.6	10.5	<b>15.8</b>	5.3	5.3	0.0
	10年未満	34	8.8	<b>35.3</b>	20.6	8.8	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年未満	110	10.0	21.8	14.5	9.1	4.2	<b>25.0</b>	0.0	8.3	25.0	29.2	33.3	4.2	<b>12.5</b>	0.0	0.0
	30年未満	123	<b>14.6</b>	25.2	14.6	17.9	2.9	14.7	11.8	8.8	14.7	29.4	32.4	0.0	2.9	0.0	0.0
30年以上	711	7.6	22.1	18.7	19.5	6.4	16.4	9.1	3.6	13.6	26.4	23.6	4.5	3.6	0.9	0.0	
職業別	自営業	65	4.6	<b>32.3</b>	20.0	13.8	8.1	20.3	11.4	4.9	19.5	25.2	27.6	1.6	3.3	1.6	0.8
	自由業	5	0.0	<b>40.0</b>	0.0	<b>40.0</b>	5.1	19.3	5.8	9.1	25.0	28.6	30.4	2.5	4.4	0.7	2.0
	会社員	257	7.0	<b>28.4</b>	22.2	17.1	9.1	<b>36.4</b>	0.0	0.0	9.1	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	公務員・教員	37	13.5	27.0	21.6	16.2	1.5	21.5	6.2	7.7	13.8	26.2	26.2	0.0	1.5	0.0	0.0
	農・林・漁業	4	<b>25.0</b>	25.0	<b>25.0</b>	<b>50.0</b>	<b>20.0</b>	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	<b>20.0</b>	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	172	7.0	17.4	18.6	14.0	4.3	12.5	7.0	10.5	23.0	28.0	32.3	5.4	1.9	1.6	0.8
	主婦・主夫(専業)	180	9.4	18.9	15.0	20.0	5.4	18.9	10.8	18.9	27.0	24.3	24.3	5.4	8.1	5.4	0.0
	学生	28	<b>14.3</b>	<b>39.3</b>	17.9	3.6	<b>50.0</b>	<b>25.0</b>	<b>25.0</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	<b>25.0</b>	<b>50.0</b>	0.0	25.0
	無職	238	8.8	18.1	14.3	19.3	5.2	22.1	4.1	5.8	20.9	30.8	32.0	1.2	4.1	0.0	1.2
	その他	53	<b>15.1</b>	<b>28.3</b>	22.6	<b>24.5</b>	5.0	23.3	5.6	5.6	23.9	<b>33.9</b>	<b>35.6</b>	1.7	3.9	0.6	1.1
居住区別	門司区	110	10.0	26.4	18.2	<b>23.6</b>	<b>10.7</b>	10.7	<b>25.0</b>	3.6	17.9	17.9	21.4	3.6	3.6	0.0	0.0
	小倉北区	183	5.5	21.9	12.0	13.1	6.7	20.2	7.1	6.7	25.2	24.4	23.5	2.5	5.5	0.8	2.9
	小倉南区	222	10.8	26.1	21.6	20.3	3.8	17.0	9.4	11.3	17.0	20.8	22.6	1.9	7.5	0.0	1.9
	若松区	98	6.1	20.4	18.4	14.3	7.1	<b>35.7</b>	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	八幡東区	84	8.3	22.6	21.4	17.9	<b>11.8</b>	15.5	10.9	7.3	<b>29.1</b>	29.1	<b>37.3</b>	3.6	8.2	2.7	4.5
	八幡西区	291	10.0	22.3	16.2	16.8	3.3	18.6	6.0	8.2	17.5	29.5	21.3	2.7	2.2	0.5	1.1
戸畑区	65	6.2	13.8	<b>26.2</b>	18.5	4.5	19.8	8.6	5.0	22.5	30.2	28.8	4.5	6.3	0.0	0.9	
経年比較																	
平成26年度	全体	1,275	7.4	20.9	15.7	18.3	7.1	23.4	7.0	9.6	23.4	27.5	27.5	1.5	4.4	0.5	2.4

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」、「無回答」は除く)

## 市が発信する情報のうち、興味のあるもの

### 【全体的傾向】

市が発信する情報の中で、興味のある事項は、「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」(55.6%)が最も多く、次いで「健康(保険・医療)に関すること」(54.8%)と続き、これらは5割以上となっている。以下、「防災に関すること」(40.6%)、「安全・安心に関すること」(32.2%)と続き、これらは3割以上となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、総合1位の「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」は女性(56.7%)が男性(53.1%)を上回った。総合2位の「健康(保険・医療)に関すること」も女性(61.7%)が男性(46.0%)を大きく上回った。総合3位の「防災に関すること」も女性(43.8%)が男性(36.2%)を上回っている。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」は70歳以上(74.2%)で最も多く、次いで60歳代(70.2%)と続き、高年層でともに7割を上回った。最も少ないのは10・20歳代(11.6%)だった。同様に総合2位の「健康(保険・医療)に関すること」も70歳以上(62.7%)で最も多く、次いで60歳代(61.9%)と続き、高年層でともに6割を上回った。総合3位の「防災に関すること」は60歳以上(45.7%)で最も多く、10・20歳代(34.8%)で最も少なかった。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」は30年以上(62.6%)で最も多く、唯一6割を上回った。同様に総合2位の「健康(保険・医療)に関すること」も30年以上(58.5%)で最も多く、6割弱となった。総合3位の「防災に関すること」は10年未満(52.9%)で最も多く、2年未満(26.3%)で最も少なかった。
- ◇ 職業別では、総合1位の「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」は無職(72.7%)で最も多く、次いで主婦・主夫(専業)(61.1%)、自営業(60.0%)と続き、これらの職業層で6割を上回った。総合2位の「健康(保険・医療)に関すること」は主婦・主夫(専業)(63.3%)で最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(61.6%)、無職(60.1%)と続き、これらの職業層で6割を上回った。総合3位の「防災に関すること」は主婦・主夫(専業)(46.7%)で最も多く、会社員(37.4%)で最も少なかった。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」は門司区(65.5%)で最も多く、次いで八幡東区(58.3%)、八幡西区(57.4%)と続いた。また、最も少ない小倉北区(51.4%)を含む全ての区で5割を上回った。総合2位の「健康(保険・医療)に関すること」は八幡東区(60.7%)で最も多く、次いで小倉南区(55.9%)と続いた。総合3位の「防災に関すること」は門司区(43.6%)で最も多く、最も少ない戸畑区(32.3%)を含む全ての区で3割を上回った。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「高齢社会(対策)・介護保険に関すること」は平成26年度(59.8%)が今年度(55.6%)を上回っている。「健康(保険・医療)に関すること」も平成26年度(58.2%)が平成26年度(54.8%)を上回っている。「防災に関すること」では今年度(40.6%)が平成26年度(32.9%)を上回る結果となった。

(7) 市が発信する情報の分かりやすさ

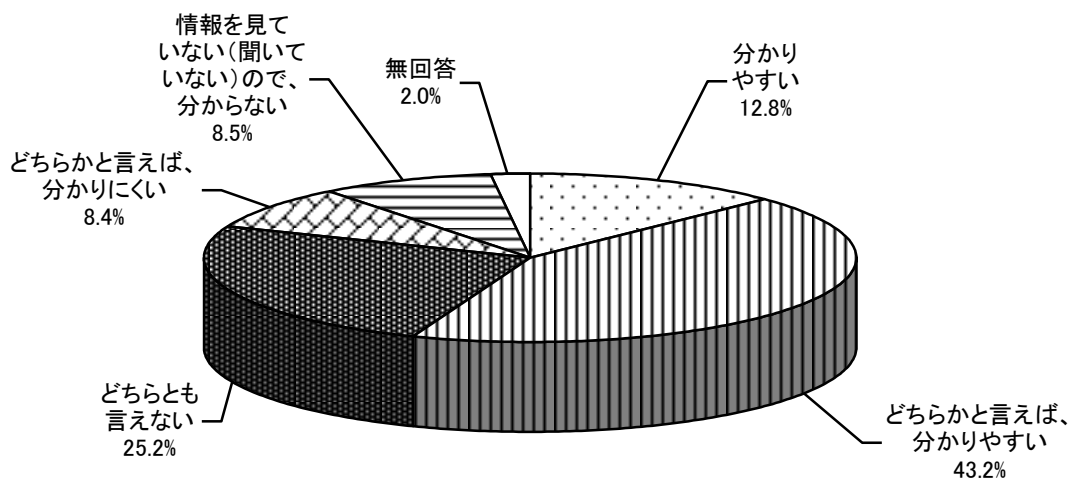
問7 あなたは、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報（市政だよりやパンフレット、インターネット、広報番組など）について分かりやすいと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,053 人

項目	回答数（人）	割合（%）
1 分かりやすい	135	12.8
2 どちらかと言えば、分かりやすい	455	43.2
3 どちらとも言えない	265	25.2
4 どちらかと言えば、分かりにくい	88	8.4
5 情報を見ていない（聞いていない）ので、分からない	89	8.5
無回答	21	2.0

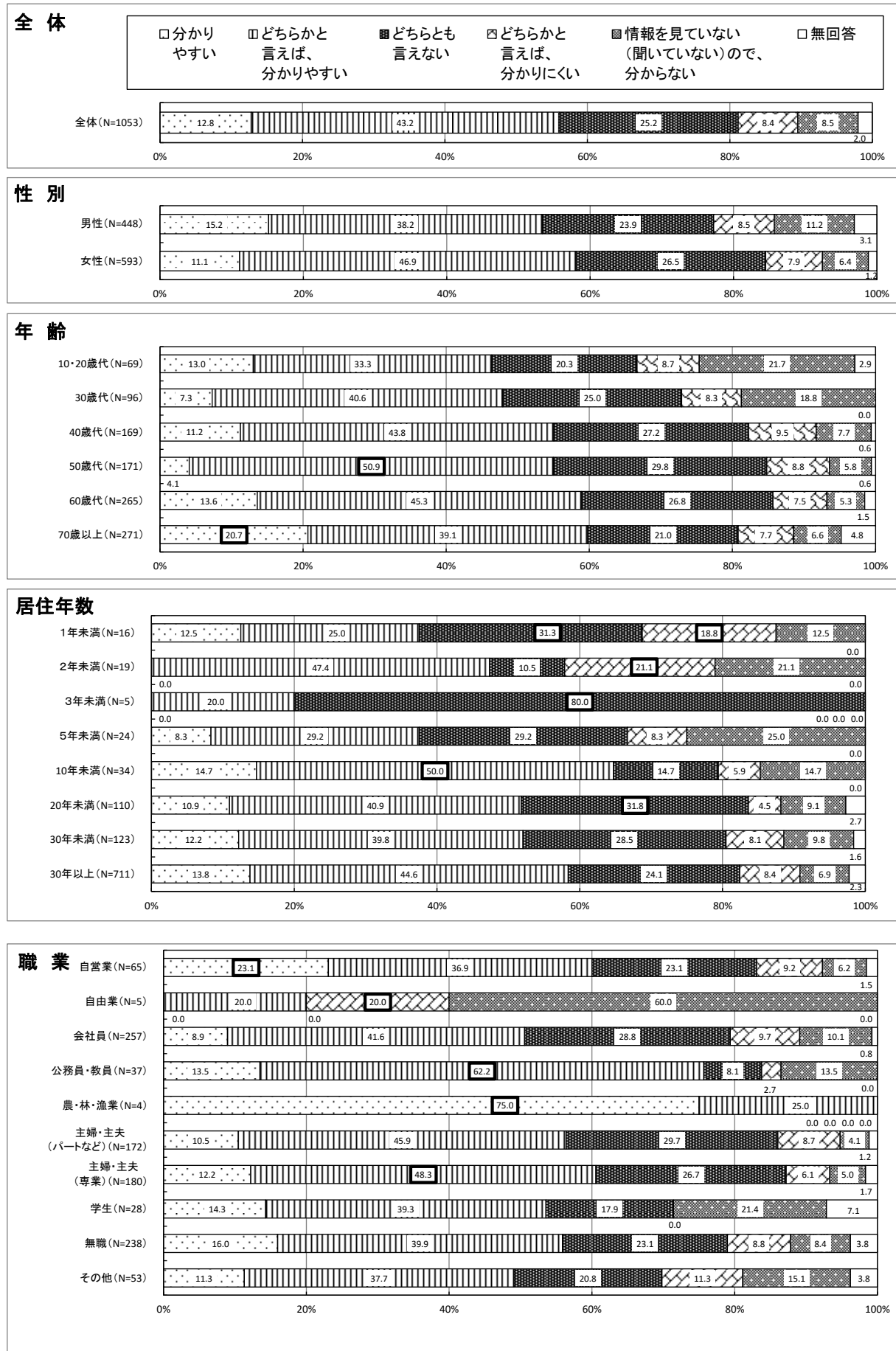
◇ 北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報は、

- 1位 「どちらかと言えば、分かりやすい」(43.2%)
- 2位 「どちらとも言えない」(25.2%)
- 3位 「分かりやすい」(12.8%)



分かりやすい   
 どちらかと言えば、分かりやすい   
 どちらとも言えない   
 どちらかと言えば、分かりにくい   
 情報を見ていない(聞いていない)ので、分からない   
 無回答

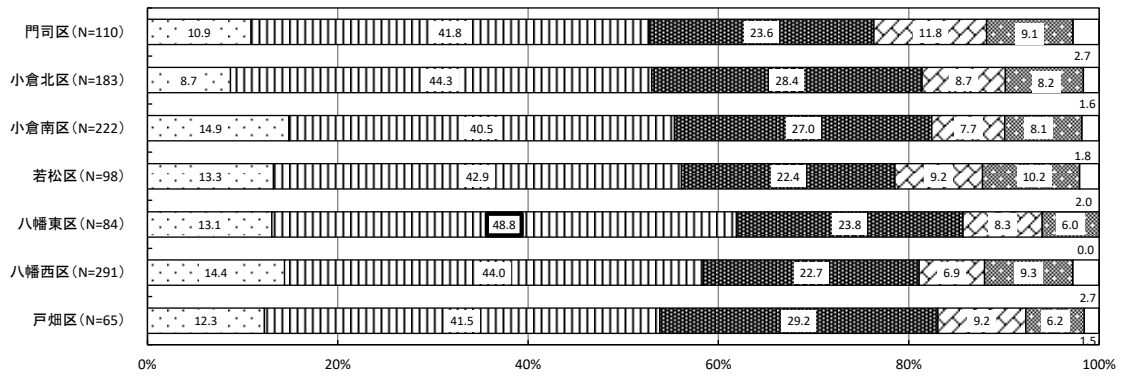
## 問7 市が発信する情報の分かりやすさ



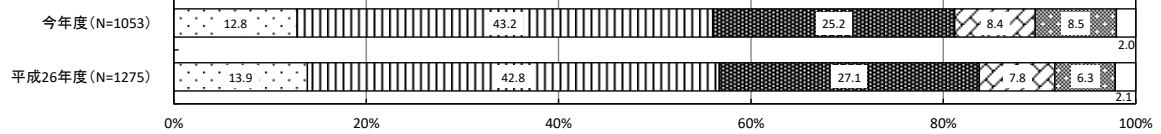


## 居住区

□ 分かりやすい      □ どちらかと言え、分かりやすい      ■ どちらとも言えない      □ どちらかと言え、分かりにくい      ■ 情報を見ていない(聞いていない)ので、分からない      □ 無回答



## 経年比較



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

## 市が発信する情報の分かりやすさ

### 【全体的傾向】

市が発信している市政やまちづくりに関する情報は、「どちらかと言えば、分かりやすい」(43.2%)が最も多く、次いで「どちらとも言えない」(25.2%)、「分かりやすい」(12.8%)の順となっている。「分かりやすい」と「どちらかと言えば、分かりやすい」を合わせた『分かりやすい』は56.0%で、5割半ばとなっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「どちらかと言えば、分かりやすい」が最も多く、女性(46.9%)が男性(38.2%)を上回った。同様に『分かりやすい』は女性(58.0%)が男性(53.4%)を上回っている。
- ◇ 年齢別では、全ての年齢層で「どちらかと言えば、分かりやすい」が最も多かった。最も多いのは50歳代(50.9%)で、最も低い10・20歳代(33.3%)との差は17.6ポイントであった。『分かりやすい』は70歳以上(59.8%)で最も多く、次いで60歳以上(58.9%)、50歳代及び40歳代(各55.0%)と続いた。一方、最も少ないのは10・20歳代(46.3%)で、次いで30歳代(47.9%)と続き、若年層で5割以下となっている。
- ◇ 居住年数別では、「どちらかと言えば、分かりやすい」は10年未満(50.0%)で最も多く、次いで2年未満(47.4%)と続いた。『分かりやすい』は10年未満(64.7%)で最も多く、次いで30年以上(58.4%)と続いた。一方、最も少ないのは1年未満及び5年未満(各37.5%)であった。
- ◇ 職業別では、「どちらかと言えば、分かりやすい」は公務員・教員(62.2%)で最も多く、次いで主婦・主夫(専業)(48.3%)と続いた。『分かりやすい』は公務員・教員(75.7%)で最も多く、唯一7割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で「どちらかと言えば、分かりやすい」が最も多かった。最も多い八幡東区(48.8%)と最も少ない小倉南区(40.5%)との差は8.3ポイントであった。『分かりやすい』は八幡東区(61.9%)で最も多く、最も少ない門司区(52.7%)との差は9.2ポイントであった。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「どちらかと言えば、分かりやすい」は今年度(43.2%)が平成26年度(42.8%)を上回っている。一方、『分かりやすい』は平成26年度(56.7%)が今年度(56.0%)を上回っている。

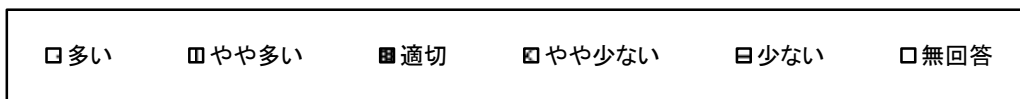
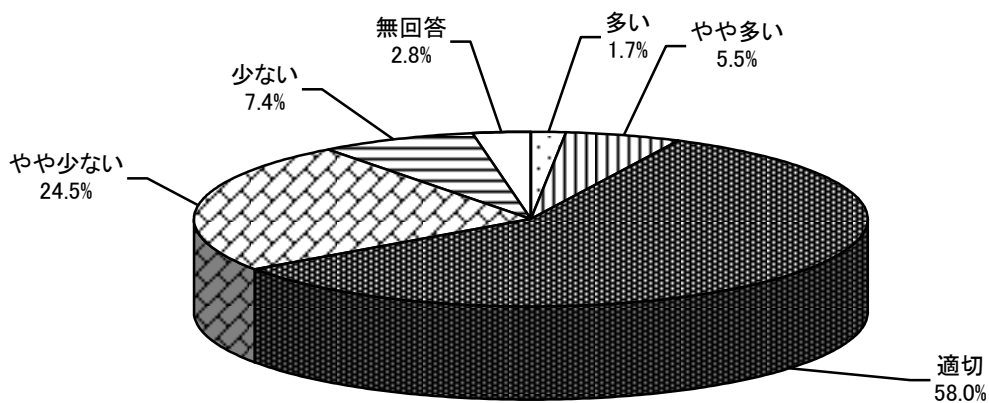
(8) 市が発信する情報の量

問8 あなたは、北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報の量についてどのよう  
にお考えですか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

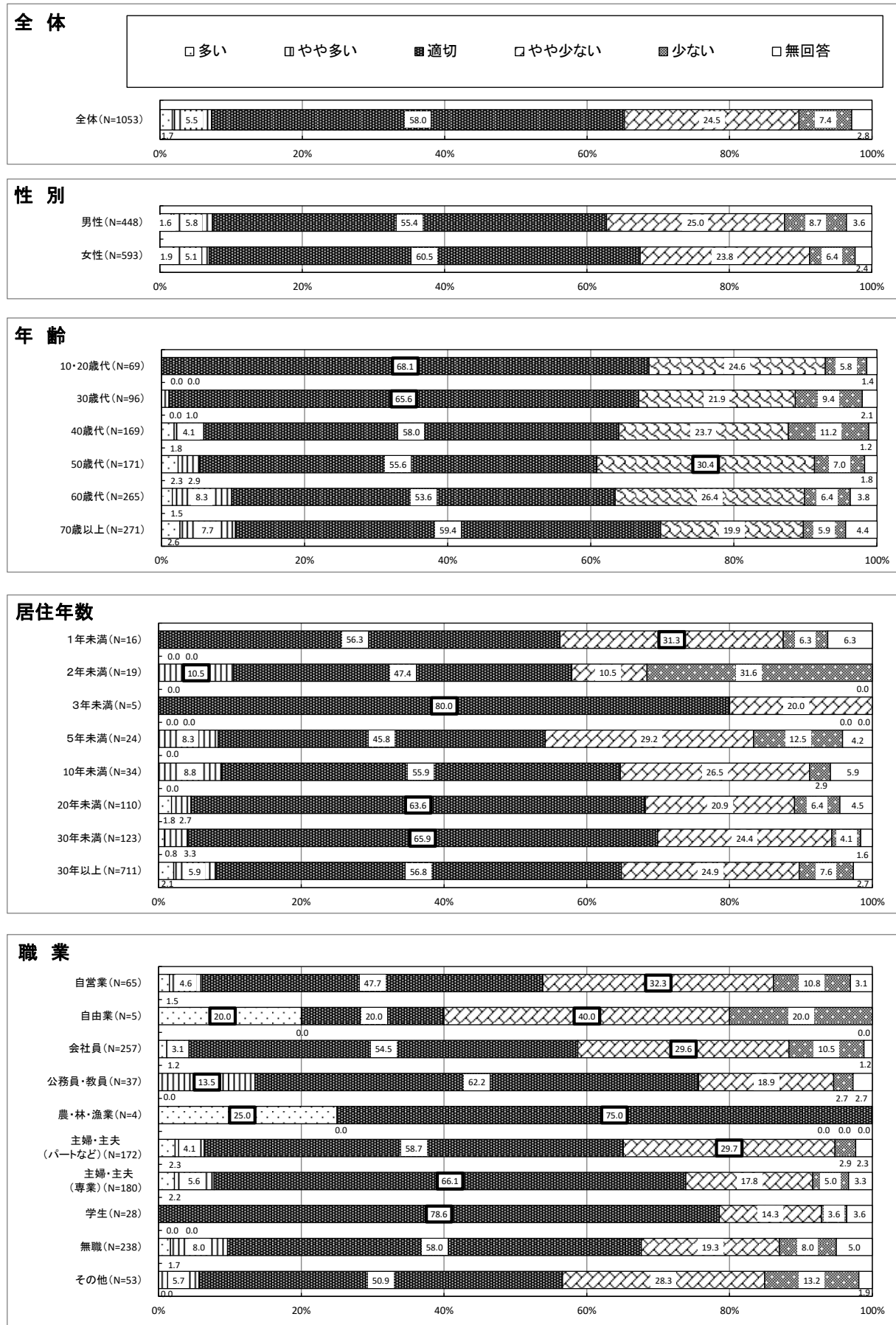
N : 1,053 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 多い	18	1.7
2 やや多い	58	5.5
3 適切	611	58.0
4 やや少ない	258	24.5
5 少ない	78	7.4
無回答	30	2.8

- ◇ 北九州市が発信している市政やまちづくりに関する情報の量は、
- 1位 「適切」(58.0%)
  - 2位 「やや少ない」(24.5%)
  - 3位 「少ない」(7.4%)

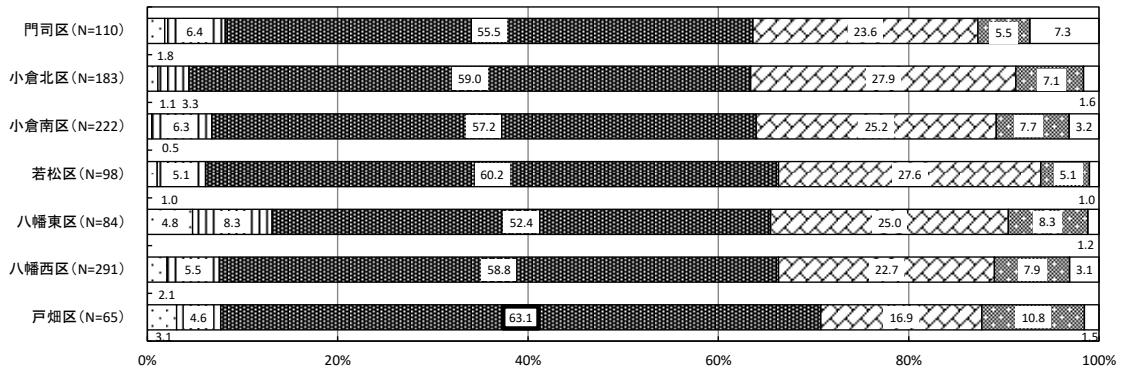


### 問8 市が発信する情報の量

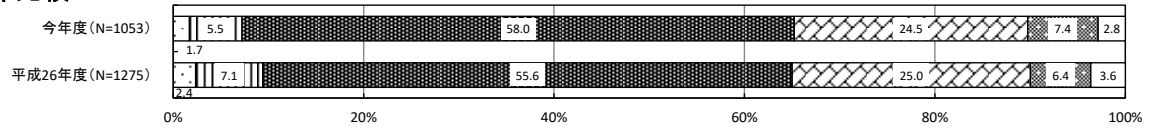


## 居住区

□ 多い    ▨ やや多い    ■ 適切    □ やや少ない    ■ 少ない    □ 無回答



## 経年比較



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

## 市が発信する情報の量

### 【全体的傾向】

市が発信している市政やまちづくりに関する情報の量は、「適切」(58.0%)が最も多く、次いで「やや少ない」(24.5%)、「少ない」(7.4%)の順となっている。「多い」(1.7%)と「やや多い」(5.5%)を合わせた『多い』は7.2%で1割に届かなかった。一方、「少ない」と「やや少ない」を合わせた『少ない』は31.9%で3割強となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「適切」が最も多く、女性(60.5%)が男性(55.4%)を上回った。『多い』は男性(7.4%)が女性(7.0%)を上回り、『少ない』も男性(33.7%)が女性(30.2%)を上回った。
- ◇ 年齢別でも、全ての年齢層で「適切」が最も多く、10・20歳代(68.1%)、30歳代(65.6%)とともに6割を上回った。『多い』は70歳以上(10.3%)で最も多く、次いで60歳代(9.8%)、40歳代(5.9%)と続いた。『少ない』は50歳代(37.4%)で最も多く、次いで40歳代(34.9%)、60歳代(32.8%)、30歳代(31.3%)、10・20歳代(30.4%)と続き、70歳以上(25.8%)以外の全ての年齢層で3割を上回った。
- ◇ 居住年数別でも、全ての居住年数層で「適切」が最も多かった。中でも30年未満(65.9%)で最も多く、次いで20年未満(63.6%)と続き、これらの居住年数層で6割を上回った。『多い』は2年未満(10.5%)で最も多く、次いで10年未満(8.8%)と続いた。『少ない』は2年未満(42.1%)で最も多く、次いで5年未満(41.7%)が多かった。
- ◇ 職業別でも、全ての職業で「適切」が最も多かった。中でも学生(78.6%)で最も多く、次いで主婦・主夫(専業)(66.1%)、公務員・教員(62.2%)と続いた。一方、自営業(47.7%)が最も少なく、5割を下回った。『多い』は公務員・教員(13.5%)で最も多く、次いで無職(9.7%)、主婦・主夫(専業)(7.8%)と続いた。『少ない』は自営業(43.1%)で最も多く、次いでその他(41.5%)、会社員(40.1%)と続き、これらの職業層で4割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で「適切」が最も多かった。中でも戸畑区(63.1%)、若松区(60.2%)で多く、ともに6割を上回った。『多い』は八幡東区(13.1%)で最も多く、次いで門司区(8.2%)、戸畑区(7.7%)と続いた。一方、『少ない』は小倉北区(35.0%)で最も多く、最も少ない戸畑区(27.7%)との差は7.3ポイントであった。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「適切」は今年度(58.0%)が平成26年度(55.6%)を上回っている。一方、『多い』は平成26年度(9.5%)が今年度(7.2%)を上回っている。

(9) 市の情報発信の方法について、改善が必要なもの

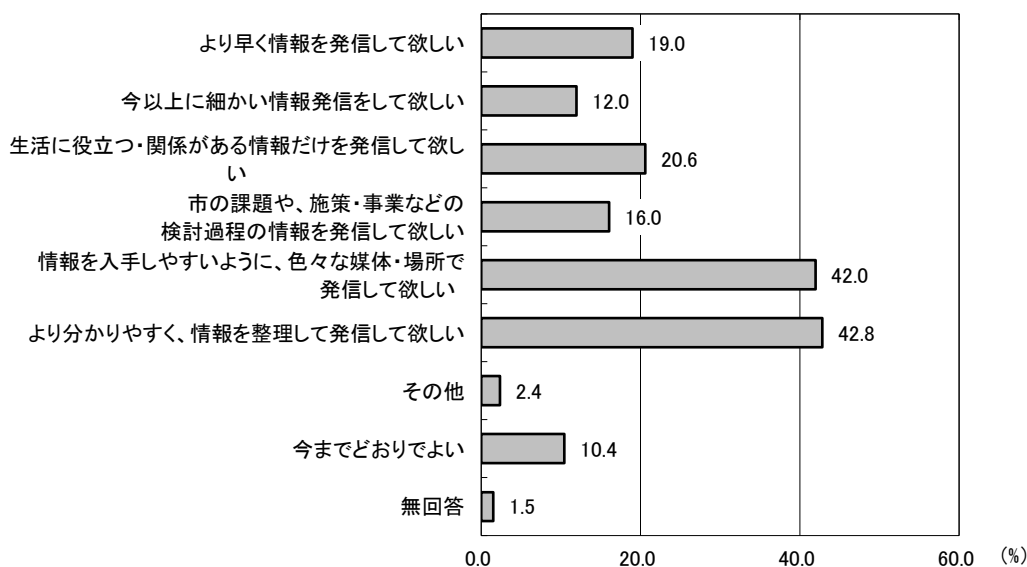
問9 あなたは、北九州市からの情報発信の方法について、どのような改善が必要だと思いますか。改善が必要と思われるものを次の中から2つまで選んでください。

N : 1,053 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 より早く情報を発信して欲しい	200	19.0
2 今以上に細かい情報発信をして欲しい	126	12.0
3 生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい	217	20.6
4 市の課題や、施策・事業などの検討過程の情報を発信して欲しい	169	16.0
5 情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい	442	42.0
6 より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい	451	42.8
7 その他	25	2.4
8 今までどおりでよい	110	10.4
無回答	16	1.5

◇ 北九州市からの情報発信の方法について改善が必要と思うことは、

- 1位 「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」(42.8%)
- 2位 「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」(42.0%)
- 3位 「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」(20.6%)



問9 市の情報発信の方法について、改善が必要なもの

(件・%)

		サンプル数	より早く情報を発信して欲しい	今以上に細かい情報発信をしてほしい	生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい	市の課題や、施策・事業などの検討過程の情報発信して欲しい	情報を入しやすいうように、色々な媒体・場所で発信して欲しい	より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい	その他	今までどおりでよい	無回答
全体		1,053	19.0	12.0	20.6	16.0	42.0	42.8	2.4	10.4	1.5
性別	男性	448	20.8	12.1	21.7	20.5	41.3	37.5	3.3	10.0	2.5
	女性	593	17.7	12.0	19.7	13.0	42.7	46.2	1.7	10.8	0.8
年齢別	10・20歳代	69	14.5	5.8	23.2	14.5	<b>56.5</b>	30.4	2.9	10.1	0.0
	30歳代	96	<b>25.0</b>	10.4	17.7	9.4	<b>54.2</b>	38.5	3.1	6.3	0.0
	40歳代	169	18.9	15.4	17.8	15.4	45.0	38.5	3.0	13.0	0.0
	50歳代	171	18.1	11.7	17.0	14.6	<b>50.3</b>	45.0	2.3	8.8	1.2
	60歳代	265	16.2	13.6	20.4	19.2	41.5	42.6	2.3	9.4	2.6
	70歳以上	271	21.4	10.7	25.1	17.7	28.0	47.6	1.8	12.5	2.6
居住年数別	1年未満	16	12.5	12.5	<b>31.3</b>	6.3	<b>50.0</b>	37.5	12.5	12.5	0.0
	2年未満	19	21.1	5.3	<b>31.6</b>	<b>21.1</b>	<b>57.9</b>	10.5	0.0	10.5	0.0
	3年未満	5	<b>40.0</b>	0.0	0.0	20.0	<b>60.0</b>	20.0	0.0	<b>20.0</b>	0.0
	5年未満	24	16.7	8.3	20.8	20.8	<b>54.2</b>	25.0	0.0	8.3	0.0
	10年未満	34	17.6	8.8	23.5	8.8	29.4	<b>52.9</b>	0.0	14.7	2.9
	20年未満	110	17.3	9.1	22.7	20.0	40.9	40.9	4.5	8.2	1.8
	30年未満	123	15.4	16.3	13.8	19.5	<b>51.2</b>	40.7	3.3	9.8	0.0
	30年以上	711	20.0	12.2	20.8	15.3	40.2	44.3	2.0	10.7	1.8
職業別	自営業	65	18.5	13.8	20.0	<b>23.1</b>	<b>49.2</b>	35.4	1.5	6.2	1.5
	自由業	5	20.0	0.0	0.0	0.0	<b>80.0</b>	<b>60.0</b>	0.0	0.0	0.0
	会社員	257	19.1	13.2	21.0	16.7	<b>49.0</b>	43.2	3.1	7.8	0.0
	公務員・教員	37	<b>24.3</b>	8.1	8.1	<b>32.4</b>	43.2	27.0	5.4	13.5	2.7
	農・林・漁業	4	<b>25.0</b>	<b>25.0</b>	0.0	<b>25.0</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	172	16.3	9.9	18.0	14.0	41.9	44.2	1.7	12.8	1.7
	主婦・主夫(専業)	180	20.6	13.3	24.4	10.0	42.2	45.6	0.6	11.1	1.1
	学生	28	17.9	3.6	17.9	14.3	<b>60.7</b>	28.6	0.0	10.7	0.0
	無職	238	19.3	12.2	23.1	17.6	30.3	43.7	4.2	11.3	3.4
	その他	53	17.0	13.2	15.1	15.1	41.5	43.4	0.0	15.1	1.9
居住区別	門司区	110	20.9	15.5	17.3	20.0	43.6	44.5	0.0	7.3	3.6
	小倉北区	183	19.7	13.1	20.8	14.2	41.0	39.9	3.8	10.9	1.1
	小倉南区	222	15.3	11.7	22.1	14.9	43.7	39.6	3.6	13.1	1.4
	若松区	98	15.3	9.2	22.4	17.3	45.9	41.8	0.0	12.2	1.0
	八幡東区	84	23.8	6.0	19.0	17.9	41.7	<b>48.8</b>	2.4	8.3	1.2
	八幡西区	291	18.6	13.1	20.3	15.8	39.9	44.3	2.4	10.0	1.7
	戸畑区	65	<b>27.7</b>	10.8	21.5	15.4	40.0	46.2	1.5	7.7	0.0
経年比較											
平成26年度	全体	1,275	19.2	15.3	20.4	17.3	36.5	42.6	2.9	8.5	2.4

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」、「無回答」は除く)



## 市の情報発信の方法について、改善が必要なもの

### 【全体的傾向】

市の情報発信の方法について改善が必要と思うことは、「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」(42.8%)が最も多く、次いで「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」(42.0%)、「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」(20.6%)と続いている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、総合1位の「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」は、男性(37.5%)と女性(46.2%)では女性が上回った。同様に総合2位の「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」も女性(42.7%)が男性(41.3%)を上回った。総合3位の「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」は男性(21.7%)が女性(19.7%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」は70歳以上(47.6%)で最も多く、次いで50歳代(45.0%)、60歳代(42.6%)と続いている。総合2位の「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」は10・20歳代(56.5%)で最も多く、次いで30歳代(54.2%)、50歳代(50.3%)と続いた。総合3位の「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」は70歳以上(25.1%)で最も多く、50歳代(17.0%)で最も少なかった。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」は10年未満(52.9%)で最も多く、唯一5割以上を占めた。総合2位の「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」は2年未満(57.9%)で最も多く、次いで5年未満(54.2%)と続いた。総合3位の「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」は2年未満(31.6%)で最も多く、次いで1年未満(31.3%)が続いた。
- ◇ 職業別では、総合1位の「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」は主婦・主夫(専業)(45.6%)で最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(44.2%)、無職(43.7%)と続いている。総合2位の「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」は学生(60.7%)で最も多く、次いで自営業(49.2%)と続いた。総合3位の「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」は主婦・主夫(専業)(24.4%)で最も多く、公務員・教員(8.1%)で最も少なかった。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」は八幡東区(48.8%)で最も多く、次いで戸畑区(46.2%)、門司区(44.5%)と続いた。総合2位の「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」は若松区(45.9%)で最も多く、次いで小倉南区(43.7%)と続いた。総合3位の「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」は若松区(22.4%)で最も多く、次いで小倉南区(22.1%)、戸畑区(21.5%)と続いている。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「より分かりやすく、情報を整理して発信して欲しい」は今年度(42.8%)が平成26年度(42.6%)を上回っている。「情報を入手しやすいように、色々な媒体・場所で発信して欲しい」も今年度(42.0%)が平成26年度

(36.5%)を上回っている。また、「生活に役立つ・関係がある情報だけを発信して欲しい」でも今年度(20.6%)が平成26年度(20.4%)を上回る結果となった。

(10) 市政への関心の度合い

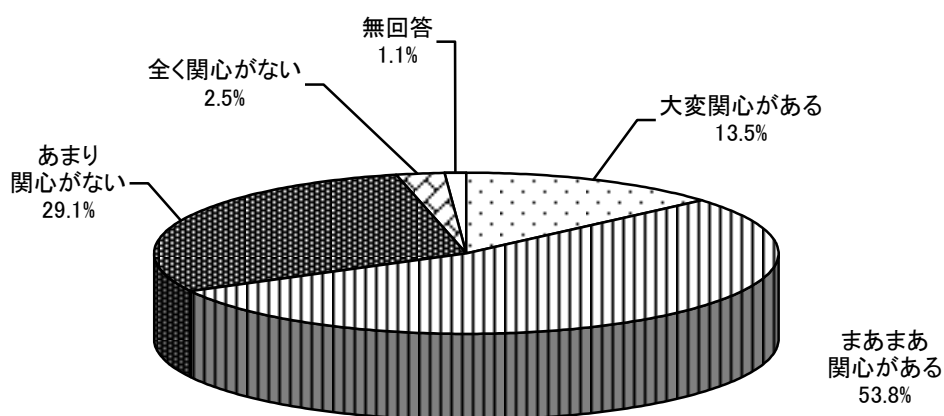
問 10 あなたは、北九州市の市政に関心がありますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,053 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 大変関心がある	142	13.5
2 まあまあ関心がある	567	53.8
3 あまり関心がない	306	29.1
4 全く関心がない	26	2.5
無回答	12	1.1

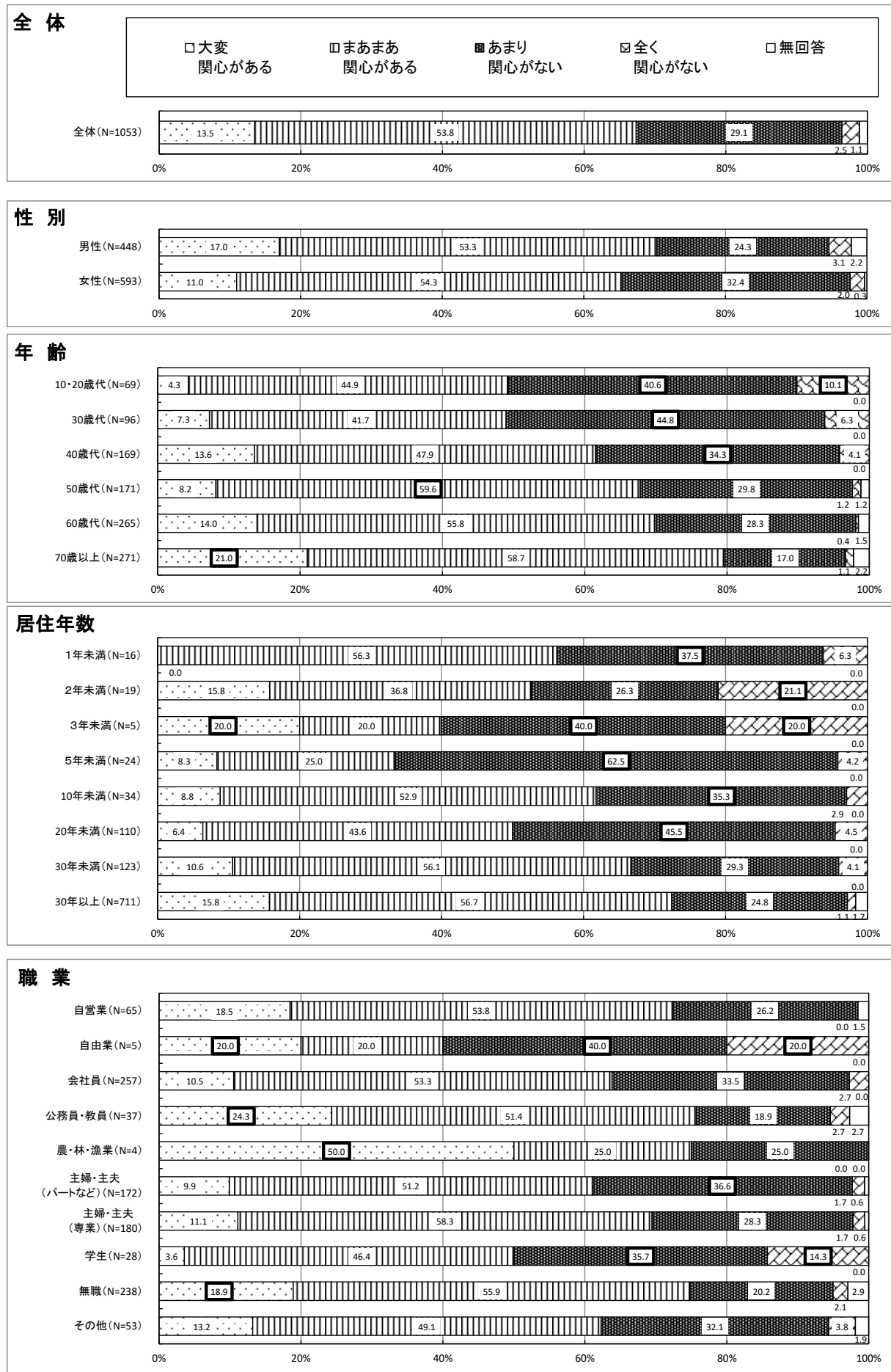
◇ 市政への関心は、

- 1位 「まあまあ関心がある」(53.8%)
- 2位 「あまり関心がない」(29.1%)
- 3位 「大変関心がある」(13.5%)



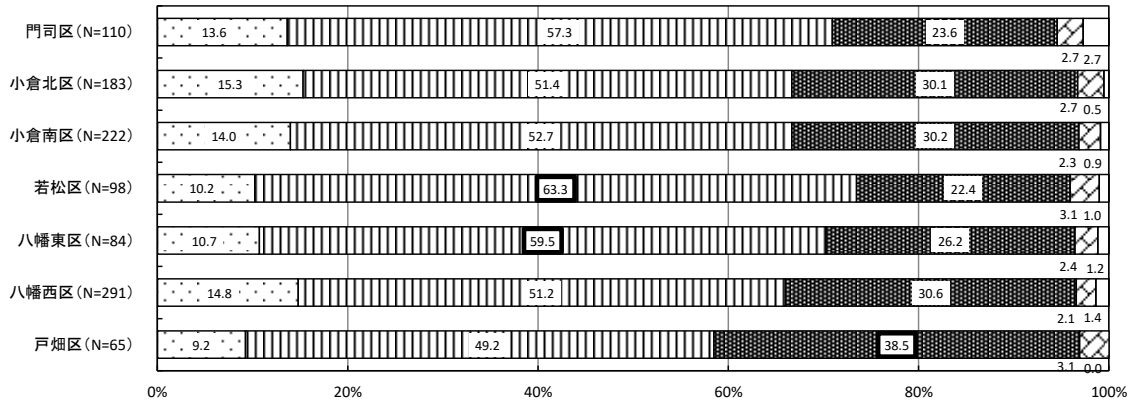
大変関心がある   
 まあまあ関心がある   
 あまり関心がない   
 全く関心がない   
 無回答

## 問 10 市政への関心の度合い

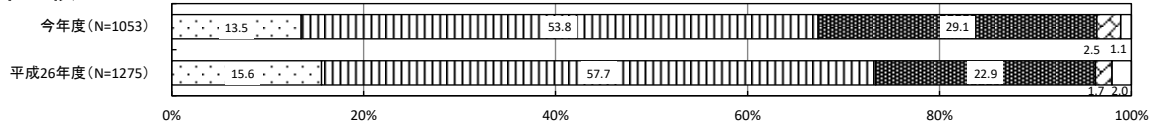


## 居住区

大変  
関心がある
  まあまあ  
関心がある
  あまり  
関心がない
  全く  
関心がない
  無回答



## 経年比較



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

## 市政への関心の度合い

### 【全体的傾向】

市政への関心は、「まあまあ関心がある」(53.8%)が最も多く、5割強となっている。次いで「あまり関心がない」(29.1%)、「大変関心がある」(13.5%)の順となって、「大変関心がある」と「まあまあ関心がある」を合わせた『関心層』は67.3%と7割弱となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「まあまあ関心がある」が最も多く、女性(54.3%)が男性(53.3%)を上回った。『関心がある』は男性(70.3%)が女性(65.3%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「まあまあ関心がある」は50歳以上(59.6%)で最も多く、次いで70歳以上(58.7%)と続いた。最も少ないのは30代(41.7%)だった。総合2位の「あまり関心がない」は30歳代(44.8%)で最も多く、次いで10・20歳代(40.6%)と続いた。総合3位の「大変関心がある」は70歳以上(21.0%)で最も多く、10・20歳代(4.3%)で最も少なかった。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「まあまあ関心がある」は30年以上(56.7%)で最も高く、次いで1年未満(56.3%)と続いた。総合2位の「あまり関心がない」は5年未満(62.5%)で最も多く、次いで20年未満(45.5%)と続いた。総合3位の「大変関心がある」は30年以上及び2年未満(各15.8%)で最も多く、1年未満(0.0%)で最も少なかった。
- ◇ 職業別では、総合1位の「まあまあ関心がある」は主婦・主夫(専業)(58.3%)で最も多く、次いで無職(55.9%)、自営業(53.8%)と続いた。総合2位の「あまり関心がない」は主婦・主夫(パートなど)(36.6%)で最も多く、次いで会社員(33.5%)と続いた。総合3位の「大変関心がある」は公務員(24.3%)で最も多く、学生(3.6%)で最も少なかった。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「まあまあ関心がある」は若松区(63.3%)で最も高く、次いで八幡東区(59.5%)と続いた。総合2位の「あまり関心がない」は戸畑区(38.5%)で最も多く、次いで八幡西区(30.6%)と続いた。総合3位の「大変関心がある」は小倉北区(15.3%)で最も多く、戸畑区(9.2%)で最も少なかった。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「まあまあ関心がある」は平成26年度(57.7%)が今年度(53.8%)を上回っている。一方、「あまり関心がない」は今年度(29.1%)が平成26年度(22.9%)を上回っている。また、「大変関心がある」では平成26年度(15.6%)が今年度(13.5%)を上回る結果となった。